

NEW

アストロ・インフォメーション



20150118 田崎 千章



20150118 山本 幸司



20150214 阿蘇野夫婦・山本
(撮影 故 阿蘇野 修二)



20150214 吉野夫婦
(撮影 吉野 圭司)



20170403 山本夫婦
(撮影 山本 幸司)



20180218 奈須 栄一



20190104 藤吉 健児

☆☆ ガクルックス十人十色 ☆☆

撮 影 : 大分天文協会ガクルックスハンターズクラブ
撮影日時 各々記載

☆☆
(大分県)



大分天文協会

Astronomical Society of Oita

表紙コメント

編集が天文協会入会直後に、ガクルックスを見たい、と話して以降、同じ思いがくすぶっていた協会員に火が付き結成された(!?)ガクルックスハンターズクラブ、2019年1月4日の編集の撮影成功をもって全員目標達成となりました。津田さんの画像がないのが残念ですが、観測成功者10名。十人十色のガクルックスを集めてみました。

編集部

～目次～

新年	01	新年のご挨拶(会長)
例会	01-02	例会報告
哀悼	03	訃報：津田 剛 さん 逝去
	03	津田 剛 さん 幻の講話 資料
	04	津田剛さんの天文気象予想・667号最終号
	04	津田さんに昨夜の月を捧げます
	04	津田さんに捧げる南天ぎりぎり三兄弟
	05-06	特集 ガクルックス
	07	アケルナルの歳差運動とガクルックス
	08	津田さんへの哀悼メッセージ
	08	追悼メッセージお届けの報告
協会ニュース	09	内那さん288個目289個目のSOHO新彗星発見
	09	奈須さん西日本新聞で二席・年間賞
観望会	10	2018.12.15 久住高原・星空の巡り
講演会印象	11	12月15日に熊本博物館で開催されたJAXA春山氏の講演に思う
活動	11	2018.12.23アストロ忘年会
機材	11	機材譲渡の案内
年末まとめ	12	2018惑星レビュー
	12	天文協会行く年くる年
	12	新年のご挨拶
会員報告画像	13-16	フィルタネン彗星
	17-19	常設流星観測隊 奈須さん
	20-22	ふたご座流星群
	22	しぶんぎ座流星群
	23	2019.01/02 月と金星の接近
	24-25	2019.01/06部分日食
	26-27	星雲・星団
	28	銀河
	28	月
	29	惑星
	30	星景
案内	31	インフォメーション用報告画像の容量変更のお知らせ
会誌	32	アストロインフォメーション バックナンバーのご案内

編集部便り

巨星墜つ。津田さんのメールが止まっていることを気にしていたのですが、その訃報に接し、愕然となりました。とうとう存命中に撮影成功の報告ができなかった・・・

編集は小学生のころから星に興味を持ち、星空を見上げていたのですが、1991年に大学卒業とともに入職して以降しばらく星空を見る余裕のない生活が続いていました。2001年にしし座大流星雨を見て以降、星への思いがくすぶり始め、2012年3月にとうとう望遠鏡を購入して星空復帰を果たしました。2013年3月に、県内からみなみじゅうじが見えないかなあ、と行動を起こし始め、2014年5月の天文協会入会時の自己紹介につながりました。その時に津田さんが、編集が考えていた場所から昔撮影したよ、と話されたことは衝撃でした。衝撃というのは・・・自分が最初じゃなかった、ということが口惜しくもなんととも言えるほど編集はできた人間ではないのですが、でもその気持よりも、こんな大先輩が同じことを考えていたんだ！と嬉しく、心強く思えた気持ち、そしてやっぱりここなら見えるんだ！という心の支えになったことは、口惜しさの数万倍でした。

その後陰になり日向になり南天撮影をサポートしてくださっていた津田さんが星の世界に行きました。

南天ぎりぎりの3天体、完全制覇が御存命中に間に合わなかったという思いとともに

2018年7月16日未明にピーコック

2019年1月3日の夕方にアケルナル

そして1月4日夜明け直前のガクルックス

とわずか半年の間に制覇できたこと、一夜にして一気にアケルナルとガクルックスを見ることができたこと、ガクルックスは6年かけての成功ではありませんがピーコックとアケルナルは初挑戦での成功だったこと、そのどれに關してもミエナイチカラを感じます。津田さんの導きであつたと編集は確信しています。この南天ぎりぎり3天体の撮影画像は、亡き星友・・・いや大先輩、津田さんに捧げたいと思っています。

そしてもう一人、お礼を言わなければいけない相手がいます。この日に家族をほっぽり出して山に夜遊びに行った編集、そこまではまあいいとしても、震度6弱の地震があつたのに家(は震度3程度だったそうですが)に帰りませんでした。過去の経験が活かされていない・・・「なんでこんな地震があつた日に帰ってこないんだ？」と地震があつたことで安否確認の電話をしてきた妻は編集にそう言ったのですが、成功の確証がなかったので理由は明かしませんでした。撮影に成功した後に、「どうしても津田さんの霊前に3天体すべての成功報告をしたかったんだ」、と話したところ、「なるほど、いい話じゃん」と言ってくれた妻。その妻にもこのガクルックス観測成功を捧げたい。

編集：2019年01/28

収載画像 インフォメーション (NO.4858) から
インフォメーション (NO.4948) まで

編集者：藤古健児

発行責任者：山本幸司(会長)

記事内容などに質問・ご意見あるときは

大分天文協会事務局までご連絡ください。

大分天文協会事務局

〒870-0924大分市牧3-13-30

TEL：097-556-9565 FAX：097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>

January 1 2019

日	月	火	水	木	金	土
		1 元日	2	3 14:20 地球が近日点	4 11時 しぶんぎ座流星群極大	5
6 13:54 金星が西方最大離角	7	8	9 例会	10	11	12
13	14 成人の日	15	16	17	18	19
20	21 北海道で半影月食	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月3日・・・1月しし座流星群
 1月4日・・・しぶんぎ座流星群(超おすすめ)
 1月5日・・・ほ座γ 流星群
 1月6日・・・うみへび座α 流星群
 1月15日・・・かんむり座ξ 流星群
 1月15日・・・みなみじゅう座α 流星群

1月16日・・・かに座δ 北流星群
 1月16日・・・かに座δ 南流星群
 1月16日・・・うしかい座λ 流星群
 1月17日・・・かんむり座θ 流星群
 1月19日・・・こぐま座γ 流星群
 1月19日・・・うみへび座α 流星群

1月21日・・・1月おおぐま座ξ 流星群
 1月21日・・・りゅうこつ座η 流星群
 1月23日・・・からす座η 流星群
 1月25日・・・いて座ξ 昼間流星群
 1月29日・・・うみへび座ο 流星群
 1月30日・・・りゅうこつ座α 流星群

February 2 2019

日	月	火	水	木	金	土
					1 月と金星の大接近 0° 05' (2:35AM)	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 建国記念の日 1:05AM 小惑星クレオパトラ いっかくじゅう座の11.6等星を掩蔽	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27 水星 東方最大離角 10:25	28		

2月2日・・・ポンプ座α 流星群
 2月4日・・・2月りゅう座η 流星群
 2月4日・・・2月おとめ座ε 流星群
 2月5日・・・ほ座δ 流星群

2月8(7)日・・・ケンタウルス座α 流星群
 2月11日・・・ケンタウルス座ο 流星群
 2月21日・・・ケンタウルス座θ 流星群
 2月(不定)・・・2月しし座流星群
 2月24日・・・しし座δ 流星群

「大分天文協会」の会員の皆様あけましておめでとうございます。
2018年も大分天文協会の活動にご協力頂き感謝いたします。とても楽しい活動が多く充実した1年だったと思いますが、2017年の阿蘇野さんに続き、2018年12月には会員の星友：津田剛さんが逝去されてしまいとても悲しく残念でした。

大分天文協会は、2019年4月には設立40周年を迎えますから長くいる会員はそれなりに高齢化しているのは事実です。星見・観測・撮影などに頑張ることはとても素晴らしいことですがその前提として、まずは皆さん自身、健康であってほしいと願います。いつまでも元気で楽しく天文楽を続けていきましょう！！！！
今年も昨年同様に楽しんでいきましょう！！！！

大分天文協会 会長 山本幸司

2019.01.09大分天文協会1月例会集合写真



☆☆ 大分天文協会2019年01月例会開催されました ☆☆
参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

日時：01月09日（第一水曜日） 19時より

場所：コンパルホール地下1 階団体活動室

参加者（15名）順不同です：

吉野夫妻・阿部・井餘田・岩田・丸野・石井（文理大）・

大島（文理大）・奈須・古長・瀧・村上・藤吉・山本夫妻

主な内容

（1）12月の活動報告

12月 1日（土）ウィルタネン彗星観望会＜香りの森駐車場＞

12月 1日（土）天文教育普及研究会の九州支部会

・・・30名参加で盛会でした、お疲れさまでした。

12月 5日（水）例会 ＜コンパル団活＞

・・・14名参加で盛会でした、お疲れさまでした。

12月 8日（土）ウィルタネン彗星観望会＜香りの森駐車場＞

12月 8日（土）第六回・四季の星空観測・・・来年2/24に延期

12月 9日（日）忘年会&勉強会 12：30～16：30

野津原公民館・1F調理室実習室

・・・都合により中止といたします。

12月14日（金）ふたご座流星群（月齢6.8）

12月15日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて

・・・講演担当：山本夫婦 無事終了

12月15日（土）「JAXAの香山先生講演会」

熊本博物館のプラネタリウムホール

12月16日（日）津田剛さんご逝去

12月 23日（日）緊急企画：純粋忘年会＜豊後駅前 青年酒場＞

・・・10名参加、楽しく開催されました

（2）01月以降の活動計画

◆印は、応援募集中です！！！！

【01月】

1月01日（火）初日の出（太陽に感謝） 日本各地

1月06日（日）部分日食（各自観測）

・・・大分県内も各地で観測されました

1月09日（水）例会（お正月につき第二水曜日）＜コンパル団活＞

・・・お正月明けですが、名参加で開催されました。

1月末定（土）月例観測会（月齢） 香りの森駐車場

【02月】

2月06日（水）例会（第一水曜日）＜コンパル団活＞

2月09日（土）のつはる少年自然の家：冬の星空散歩

・・・担当：山本F

2月09日（土）予定 月例観測会（月齢） 香りの森駐車場

◆2月24日（日）四季の星空観測会5回目（冬の部）18時～

・・・担当：丸野さん、応援募集中

【03月】

3月06日（水）例会（第一水曜日）＜コンパル団活＞

3月09日（土）予定 月例観測会（月齢） 香りの森駐車場

◆3月10日（日）四季の星空観測会6回目（春の部）

・・・担当：丸野さん、応援募集中

（3）会報などの紹介

今月も友好団体から立派な活動の会誌などを

頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

・星屑 NO. 526 熊本県民天文台

・天界 2018年12月（第1123号）東亜天文学会



例会風景・1



例会風景・2

(4) 追悼：津田剛さん

2018年12月16日に急逝された 故・津田 剛 さん・・・年末に大分天文協会の会員が亡くなるという大変悲しいお知らせをしなければなりません。本当に残念です。

以前からご病気で透析もされていましたが、ここ数年はとても元気で、気象に天文にUFOなど超常現象に・・・多方面にとても熱心に活動されてました。12/5の天文協会例会にも元気に参加され、講話「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」で熱弁をふるっていただきましたので、急なお別れに本当に驚きで一杯です。独特・独自の天文活動をされていた津田さん、南限ギリギリ天体などは本当に津田さんらしい天文と気象の両方に通じたライフワークだったですね！

津田さん・・・本当にいろいろな情報や刺激をありがとうございました、天上の星の世界で、星と気象をゆっくりとお楽しみください！

(5) 幻の講話「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」故・津田さん

津田さんが亡くなる少し前に事務局に送ってきた資料があります。新春1月の例会で配布して使う予定だった気象講話の資料です。急逝してしまい、幻の講話となった資料です。どのような講話の内容か？までは分からないので代弁するわけにもいきませんが、折角ですので皆さんお披露出しました。津田さんの「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」講話：最終回となりました・・・・・・（涙）



(6) 「亡き星友に捧げるガクルックス」：藤吉さん

「大分天文協会南天ギリギリ天体観測隊」隊長の藤吉さんから、1/3-4の一晚にアケルナル、そして、みなみじゅうじのガクルックスの観測撮影に成功した報告がありました。これでピーコックも含めた南限ギリギリ3大天体を制覇ですね、おめでとうございます。南限ギリギリ3大天体観測は、津田さんの指導や激励がとてありがたかったので、3大天体の写った写真を藤吉さんが持ってきて今日の例会に写真で参加した津田さんの遺影に捧げられました！津田さん、藤吉さんが3大体制覇しましたよ！良かったですね！！！！



(7) しぶんぎ座流星群観測報告

1/4未明と、お正月休み気分を吹き飛ばす流星群でしたね！夜半から未明にかけて結構な数の流星が流れたようで、寒い中早朝にもかかわらず観測して感動した会員も多かったようです。

(8) 部分日食観測報告

天気予報ではほとんど曇りの大分でしたから油断していた会員もいたようですが、皆さんちゃんと観測できたようで何よりです。部分食ですすら気軽に楽しめた方も多かったようです。皆既食も見たいですね！！！！この日の為にY野奥様はNikon COOLPIX P1000なんと125倍ズーム：3000mmと言う大砲コンデジを入手されたそうです、すごいですね！！！！3000mmコンデジですよ！太陽だけでなく月も鳥も行けますね！！！！

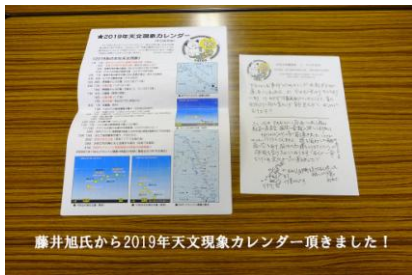
(9) その他観測報告

年末年始は、九州・大分県は比較的晴れが多く穏やかでしたので、年末年始の多忙な中でも皆さん活発に観測されたようです、素晴らしい！(6)(7)(8)以外の観測報告を皆さんから順番に発表してもらいました！！



(9) お土産・プレゼント：その1

藤井旭氏から、恒例の「2019年天文現象カレンダー」が届きましたので皆さんに回覧させていただきました。(感謝)今年も色々な天文現象がありますが、快星・星天となりますように！！！！



(10) お土産・プレゼント：その2

梶原さんから、ご自身の撮影した素晴らしく美しい天体写真で作ったフォトブックカレンダーがプレゼントとして事務局に届きました、ありがとうございます。例会の参加者の中で希望の方に折渡さされたことでしたので、一番若い大学生の石井さんにプレゼントされました。素敵なお年玉になりましたね！！梶原さん、ありがとうございます！！



(11) お土産・プレゼント：その3

古長さんから、みかんの差し入れがありました。風邪がはやる時期、ビタミン補給しましょう！古長さんありがとうございます！また、甘いもの好きだった亡き津田さんに、吉野さんからどら焼きも差し入れがありました。吉野さんありがとうございます。みかんとどら焼きも津田さんの写真にお供えさせていただきました！



(12) 恒例企画の

「今月のオークション」コーナー
「機材・お宝紹介」コーナー
「画像処理セミナー」

・・・今月はお休みでした。

悲しいお知らせです、
大分天文協会会員の 津田 剛 さんが
12月16日 ご逝去されました
謹んでお知らせいたします。

以前からご病気で透析もされていましたがここ数年はとても元気で、気象に天文にUFOなど超常現象に・・・多方面にとても熱心に活動されてました。12/5の天文協会例会にも元気に参加され、講話「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」で熱弁をふるっていただきましたので、急なお別れに本当に驚きで一杯です。

葬儀等はご家族で行われたそうで、本日、山本夫婦が代表してご自宅にお参りに行かせていただきました。ご家族さまから、長く一緒に活動してきた天文協会の皆様にも、お世話になったお礼をお伝えくださいととのこと。ご遺影をご家族の許可を頂き、ご紹介させていただきます。

独特・独自の天文活動をされていた津田さん、南限ぎりぎり天体などは本当に津田さんらしい天文と気象の両方に通じたライフワークだったですね！年末に悲しいお知らせとなりましたが、皆さん、大分天文協会の亡き星友の津田 剛さんのご冥福をお祈りください。

津田さん・・・本当にいろいろな情報や刺激をありがとうございました、天上の星の世界で、星と気象をゆっくりお楽しみください！

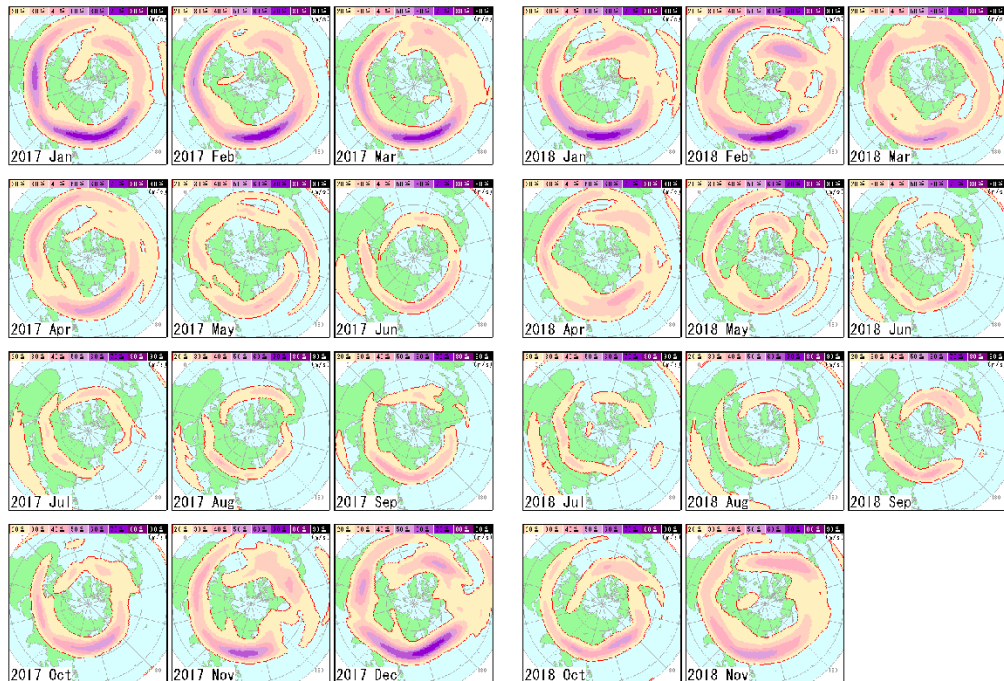
20181224配信 No4900

山本 幸司



津田 剛 さん 幻の講話 資料

南天ぎりぎり天体に限らず、何においても大先輩であった津田さん、あまり例会に参加できない編集でも、時折参加しては、そのレポートの広さと博識さには驚かされていました。2019年1月の例会でも話をすべく準備をされていた、とのこと。どういのお話をされる予定だったのでしょうか？資料をいただきましたので、それを見ながらみんなで津田さんの話を想像してみませんか？
編集部



2017年2月2日に第1号を配信から始まりほぼ毎日発行されていた「津田剛さんの天文気象予想」は、天文・星屋に必要なことに特化した天気予想・・・とても独自で独特で貴重な情報でした、本当に感謝です!!!

最後になった667号は亡くなる前日の12/15に届いていました。最終号としてここに全文掲載させていただきます。

津田さん、・・・本当にご苦労さまでした、そしてありがとうございます。
事務局

●九州南部からも冬のたより

けさ(15日)は北から九州の南まで冬の冷たい空気にすっぽりと覆われ、全国的に冷え込みが厳しくなりました。特に九州では明け方から朝にかけて目立った雲はなく、放射冷却の影響も加わったため、今シーズン一番の寒さとなった所が多くなりました。

けさの最低気温は、福岡で3.2度、長崎1.7度、鹿児島3.9度で、宮崎でも1.4度まで冷え込みました。熊本では氷点下1.0度を観測し、今シーズン初めて0度を下回りました。冬のたよりも届いていて、宮崎では初霜と初氷を観測。熊本、長崎では初氷を観測しました。

日本付近には強い寒気が流れ込んでいて、きょうも冬型の天気です。ただ、寒気は抜け始めているので、午後には日本海側の雪は止んで、太平洋側の北風もおさまります。ただ、日曜日の朝も冷え込むところが多くなります。

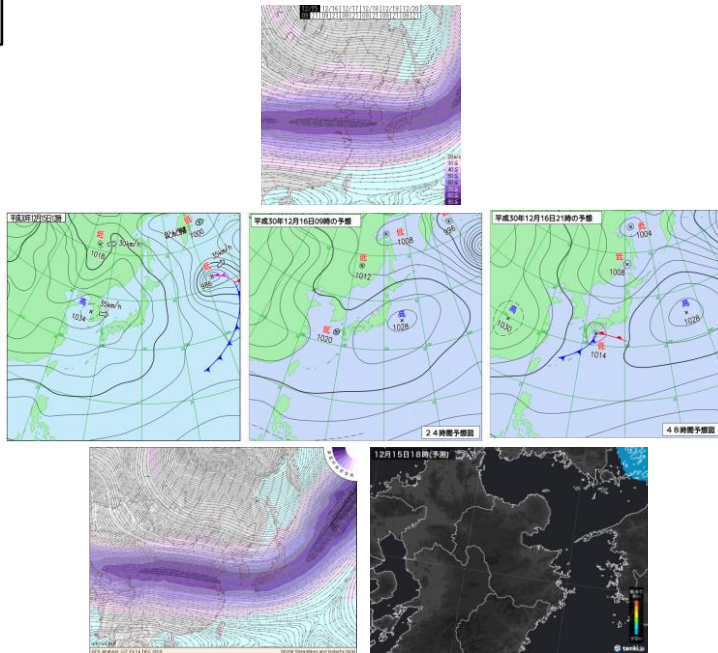
日曜日は、西から低気圧が近づくため、次第に雨となります。山沿いでは、降り始めは雪となるところもありそうです。関東は、早ければ夕方ごろから降り始め、夜遅くにはしっかり降るところが多くなりそうです。雨は月曜日の午前中まで続きます。

そのあと火曜日にかけては冬型となりますが、そのあとはしばらく寒気が入らず、気温が高めの状態が1週間くらい続きそうです。

(気象予報士・渡辺 正太郎) (ウエザーマップ)

(以下津田です)

次第に高気圧hは遠ざかり、高気圧の背になりました。東シナ海に低気圧が発生し、次第に天気は崩れます。今日の12時ですすでに大陸には気圧の谷が出ています。指数は全県0です。ただし夜半までと思って下さい。夜半以降は雲が出やすいでしょう。明日の指数は全県0です。気流は良くありませんが最悪ではないようです。pmlは全県少ない予想です。



津田さんに昨夜の月を捧げます

煌々と照る月を見上げてなかなか寝れませんでした。つい先日お会いした時は元気そうでしたのに。軽口を交わしたのが最後になろうとは、、、惑星屋としては高層気流の示唆を頂いたのも津田さんでした。前々回の例会では大分県内の古い落下記事や、前回はUFO記事まで。これからいろいろなテーマを聞かせてくれるものと楽しみにしてたところでした。津田さんに昨夜の月を捧げます。

2018・02h28m31s~57m05s

10cmマクストフ+ASI224MC+IR76フィルター

1) 合成画像から一部切り出しイメージ

2) 24枚モザイク合成全体

20181225配信 No4904

川端 孝幸



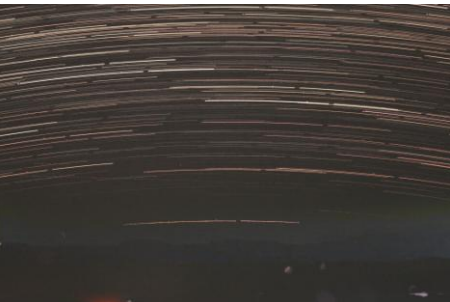
津田さんに捧げる南天ざりざり三兄弟

津田さん、ご冥福をお祈りいたします・・・
ガクルックス撮れました！と報告できるのが一番

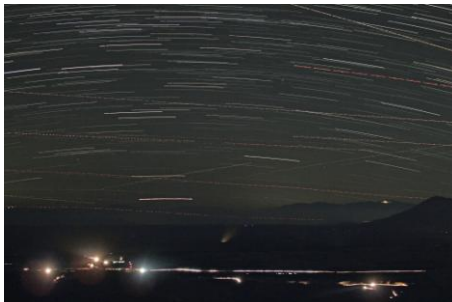
良いのでしょうか、と思ったのが12/25、そこで正月休みの間に撮りに行ってきましたよ！

20190105配信 No4935

藤吉 健児



ビーコック
2018.07/16 00:47~01:25 JST



アケルナル
2019.01/03 18:49~19:04 JST



ガクルックス
2019.01/04 05:39~05:54

編集が入会後、津田さんが、南十字星ならもう県内から見たよ、と仰って、「やっぱり見えるんだ！」と一気に皆のくすぶっていた炎が大きくなりました。津田さんの御存命中に間に合わなかった不届きものが約1名いますが、この機会に大分天文協会によるガクルックス撮影成功例をまともにみたいと思います。 編集部

編集が入会する以前から、山本さんはガクルックスを狙っていらっしゃったそうですが、なかなか成功されていなかったそうです。編集入会後最初に成功されたのは、アタック歴10年の山本さんでしたね！そして、同時に成功したのがなんと編集と同期入会の田崎さん。編集は田崎さんの後塵を拝すること・・・(笑)

20150119配信 No2786

2015.01.18 大分で みなみじゅうじ 山本 幸司 見えたぞ

南天の代表的星座のひとつが「みなみじゅうじ」ですが、その一番北の星を大分で見れました！！ギリギリ天体のエキスパートの津田さんが、随分以前に確認されていたので、私たちも自分で見たいと思い、勝手に作った、大分天文協会ガクルックス捜索隊は、大分の地で見つけたいと活動してました。(隊長は藤吉さん！)低空の雲やPM2.5、最近では阿蘇の噴煙などに阻まれて中々見られませんが・・・ようやく観測・撮影に成功しました。観測者は天文協会隊員の田崎さんと山本の2名で、牧ノ戸峠下の展望台で合流しました。ちなみに・・・気温は氷点下5度でした(笑)

2015.01.18 04:25~05:31
固定撮影 各25秒を151枚比較明合成
FUJIFILM X-T1/Nikkor28-105mmF3.5-4.5D (f=70mm)

大分県牧ノ戸峠下にて
北緯:33° 05' 08" 東経:131° 11' 34"
標高:1184m

2回目の成功は月例観測会の2次会でしたね。庭撮り専門の編集はなかなか月例観測会に出かけませんが、そのおかげで、編集より後に入会した阿蘇野さんの後塵を拝することに(笑)その阿蘇野さんも故人となってしまいました。ご冥福をお祈りいたしております。編集が撮影に成功したピーコックは、阿蘇野さんから受け継いだカメラの偉業です。 編集部

20150215配信 No 2810

ガクルックス

阿蘇野 修二(故人) 文 山本 幸司

厳寒の2月真っ只中ですが定例の月例観測会が開催されました。ミミズ集まった10名+1名は、観測3ヶ月になるラヴジョイ彗星や諸々の天体をお願いに撮影されていました。この日は、前日に比べると多少PMの影響がありましたが気温も高く風も弱く、観望会には絶好でした。

第一部と言うか、香りの森の観測が山を越して片付けに入るとき、「ガクルックス見に行くか?」、誰かが言い出し、阿蘇野さんが「是非見たい!」行きたい!と強く背中を押しました。実はこの日、ギリギリ天体の津田さんから「今夜の気象条件はかなり良いかもしれないが見えるかも知れんぞ!」とアドバイスがきたことを皆さんに知らせていました。GPVで宮崎南部に多少薄雲があったので気になりましたが、有志で思い切って牧ノ戸まで転戦することとなりました。

メンバーは、吉野夫婦・阿蘇野夫婦・山本の5名!香りの森に一人丸野を残して0時30分位に出発し、途中久住の観測地を案内したりして、大分天文協会南限天体観測展望所(?)に02時過ぎに到着いたしました。さすが山岳地帯ですから風も強く寒さも厳しかったですが、ガクルックスと言う目標があれば何のそのですね!肝心の空は95パーセントは快晴!!!!ただ、肝心の南天ギリギリに遠くの薄い雲があるようです。



20150118撮影

田崎 千章



2015.01.18 地平線上のガクルックス
https://www.youtube.com/watch?v=kOARgEVceQ&feature=youtu.be_gdata

経験上・・・これは厳しそうだな、と思いましたが諦めたら終わりです。ガクルックス隊長の藤吉さんからも「頑張れ!」と応援指令が入っているそうですから、簡単には諦められません。皆さん、それぞれ撮影の準備・双眼鏡で捜索を開始しました。ケンタウルスの特徴的な台形に近い四角形はよく見えますが、その下は雲なのが阿蘇の噴煙なのか分かりませんが曇ってます。山の稜線も分かりません。

03時の南中時刻が迫ってきて、だんだんあせてきましたが・・・02:55撮影のモニターに淡い光が見えたので10センチ対空双眼鏡で確認すると雲を通してあわーーい、光が見えます。位置的にガクルックスかと思いましたがとてもこれだけでは確証が持たないので双眼鏡の視野のギリギリ外に光を置き日周運動してるか確かめましたらちゃんと動いています!

「ガクルックスだ!」と知らせ皆で大型双眼鏡でみなみじゅうじの星光を確認いたしました。モニター上では何とか見えてますが、私の小型双眼鏡では最後まで確認できませんでしたから前回(1/18)より条件は厳しかったです。それでも、ガクルックス観測成功ですから本当に良かったです!今度は、双眼鏡やカメラを通しては無く自分の肉眼で見てみたいです。

ガクルックスについてはFBサイトに吉野さんが詳しく投稿されています(インフォにもよろしく)ので見る方はどうぞご覧ください。また、阿蘇野さんから観測報告が届いていますので紹介させていただきます。阿蘇野さん、1回目の観測参加で見て良かったですね!間違いなくガクルックスですよ!!!!以下阿蘇野さん報告です。

お世話になります。昨晚というか 深夜お疲れ様でした。ガクルックスと思しき写真を同封します。ものすごく赤く写っているのがそうでしょうか。本当にガクルックスなのか自信がないので 山本さんにお送りします。



RT 分

この時の様子は吉野さんもお報告くださっています。何も申し合わせていないのに、牧ノ戸峠下でばったり出会ったこともある吉野さん、何度も通った甲斐がありましたね！ 編集部

20150216配信 No 2811

2/14月例観測会報告

吉野 圭司

定例観望会終了後、山本会長、阿蘇野F、吉野Fでガクルックスを撮影してきました。空は良く晴れていましたが、阿蘇方面は低空に薄雲がかかり、厳しい条件でした。低空の星は全く見えない状況だったので半分あきらめていましたが、雲の切れ間から赤い点が現れたときは感動ものでした。会長の10cm双眼鏡でも、赤く光る姿をはっきり確認出来ました。皆さん、寒い中お疲れ様でした。



その後編集は何度も蒲江や牧ノ戸に通ったのですが、そのたびに振り返り、画像処理に頼ってかうじて浮かび上がらせたりもしたのですが、黄砂だけでなくPM2.5の影響や、九州中南部で相次いだ火山の噴火などが発生し、春先の大気状態は悲惨極まりなかったですね。そんな中でも、前回撮影から2年のブランクで、山本さんが今度はご夫婦で撮影に成功されました。ご夫人を連れていくとなると極寒の1月2月は辛いでしょうけれど、よく大気状態最悪の4月上旬に撮影に成功されたものです。もう一つ付け加えさせていただくと、自分一人では見ただと夫婦そろっては見えないからどうしても二人で、と仰ったその弁を聞き、編集ももうちょっと家族と一緒に星を、と考えを改めるきっかけにもなった成功例でもあります。編集部



2017.04.03 23:44~24:53
FUJIFILM X-T1/XF18-55mmF2.8-4 (f=55.0 F=4.0)
ISO:1600 固定撮影 各30秒を136枚を比較明合成
大分県牧ノ戸峠下にて
北緯:33°05'08" 東経:131°11'34"
標高:1184m

20170404配信 No 3637

2017.04.03 霞空のガクルックス

山本 幸司

本当に欠けた快晴・欠けた出撃のターゲットは南天ギリギリ天体の、みなみじゅうじ星:ガクルックス! 南半球の代表的な星座ですが、一番北の星は高地で条件が良いとぎりぎり見ることが出来ます。これまで数回私は見ますが、夫婦で揃って見たことはありませんでした。ようやく二人で見ることが出来ました。と言っても・・・快晴とは言いがた、低空には霞のようなもので視界不良。写真には写るものの裸眼では到底無理。10cmの対空双眼鏡でようやく微かに見ることが出来ました。



山本さんからはこのときの静止画像は届いていないのですが、定例会と併せたYOUTUBEに動画が投稿されています。編集部

2015.02.14~15大分天文協会月例観測会 & ガクルックス
<https://www.youtube.com/watch?v=URUXuQLz-YQ>

その1年後に成功されたのが奈須さん。その奈須さんも5回目のアタックだったようです(笑) 撮影に成功するんなら誘ってよ〜、なんてわけのわからんことも言いましたっけ(笑) でも、やはり真冬に行った方がいいのかな? と考えを変えた成功でもありました。編集部

20180218配信 No 4158

ガクルックス撮りに行ってきました

奈須 栄一

やっと撮影できました! 昨日の夕方まですごく良い快晴に成っていました。夜になって、霞んできました。ダメもとで、良い条件のガクルックスを撮りに行こうと、早めに少し寝て、23時半に家を出て、00時20分頃に目的地、牧の戸南側下駐車場に着きました。この時点まで良い天気でした。が、次第に熊本方面から、雲が出て来ました。モヤで、肉眼では見るんが厳しい感じでしたが、意外と低い位置の星も見えていたので、そのまま撮影を続行しました。寒く-5℃でしたが、風もさほど強く無く、車の中の待機も問題なく過ごせました。帰って今、現像するとしっかり写ってくれています! 5度目にしようやく撮影できました。この場所での観測は、何人目でしょうか?

そしてみなさんにかなり遅れはしたものの、編集にもとうとうその日が来しました 編集部

20190105配信 No 4933

歓喜の瞬間! ガクルックス

藤吉 健児

ついにこの日がやってきました。追い続けていたガクルックス、とうとう目にすることができました。明け方にかけて宮崎や鹿児島上空に雲の発生の予報がありまた牧ノ戸峠下に着いた時、低空に雲がたなびいており、今回もダメか? との不安がよぎりました。見えてくるはずの稜線を双眼鏡でのぞき続けることしばし、山かげから光点が現れた瞬間、雄たけびを上げてしまいました。やったああ! 津田さん、ありがとう! 大分天文協会南天ぎりぎり天体観測隊長、観測は一番最後になってしまいましたが一夜にしてアケルナルとガクルックス両方観測、はなかなか珍しいでしょ?

さて成功例ばかり見ると何が難しいんだ? と思われるかもしれませんが、問題はここ大気状態の不透明さなのです 編集部



でも、津田さん、とうとう、大分天文協会、津田さんを含めて10人、ガクルックス観測に成功しましたよ!!! 編集部



2019.01/04 05:09~05:13の50コマ比較明合成です。
Tamron SP70-200mmF2.8(70mmF2.8)
Canon EOS 70D(In) ISO3200 4秒
牧ノ戸峠下展望所から
実はYOUTUBEに動画あります(^^ゞ
<https://youtu.be/SQAY4kATgJo>



20190107配信 No 4943

南天ぎりぎり天体観測隊解散の危機回避 藤吉 健児

実は念願のガクルックスを目で見られたこと、画像に残せたこと、でバーンアウト・・・燃え尽き症候群になりかかりました。ところがです。もうすでにご存じの方もいらっしゃると思いますが今回のアケルナル撮影とガクルックス撮影を天文リフレクションズでピックアップしていただきまして、その上、昔はガクルックスよりアケルナルの方が高度が低かったのに歳差によって立場が逆転し、ガクルックスの方がアケルナルより高度が低くなっている、という記事にまでつながってしまいました。記事中に僕が何かを指摘したことが書いてあって、読み方によっては、「歳差によって」高度が逆転したことを僕が指摘したように読めなくもない様相を呈していますが、僕が指摘したのは、「今は」ガクルックスの方が高度が低いようですよ、ということだけです。正直そのやり取りをしている間、歳差のことはすっかり忘れておりました(´▽`)

実は、山本さんが2004年と2014年にアケルナルを撮影され、高度がこんなに違う、と歳差による変動を指摘されていました。その時の画像と比べたらアケルナルの方が低いとわかったりするのでしょうか？と質問を投げかけていたのですが、昨夜、その画像を提供するから、今回撮影した画像とコンボジットしてみてくださいませんか？との連絡がありました。で、その山本さんとわたし藤吉の合作がこちらの画像になります。



歳差によりアケルナルの見える位置は少しずつ高度が上がってきています。気象条件の違いによって「大気による浮き上がり効果」もその時々で違うそうですから正確に高さを表現できているわけではないのだそうですが、少なくともアケルナルの高度が上がりがつある傾向、は間違いのないですね。2004年のアケルナルは2019年のガクルックスよりも高度が低かったという点に関しては、その「大気による浮き上がり効果」なるものの影響もあるのかもしれませんが(？)とまでは言えないそうです。(僕はまだその「大気による浮き上がり効果」の理屈がわかっていません)

さて、歳差によってアケルナルの高度が上がってきていることはこの山本さんの報告で知ってはいたのですが、問題なのはそこで大きな誤解をしていたことです。アケルナルの高度が上がってきているということは恒星間の位置関係は変わらないはずだからガクルックスの高度も上がってきている、と思いこんでしまったのです。

そこに天文リフレクションズ編集長さんの、ガクルックスはより高度が低い方向に、アケルナルはより高度が高い方向に移動している、との情報で(？。？)となってしまったのです。

天文リフレクションズにアップされているグラフを心の広い編集長さんのお許しを得て拝借しました。注釈は僕が書き加えています。

藤吉さんから「南限天体高度の歳差変化」の検証が届きましたありがとうございます。まずは解散危機にあった「大分天文協会南天ぎりぎり天体観測隊」の続行が藤吉隊長から宣言された事、喜ばしい限りです！

当初の目標の南限ぎりぎり3大天体のアケルナル・ビーコック・ガクルックスを見る・撮る・・・と言う目標は確かに達成しましたが、それだけでは星屋を名乗るには寂しい。何か貢献したい！！と言う意気込みと受け止めます！

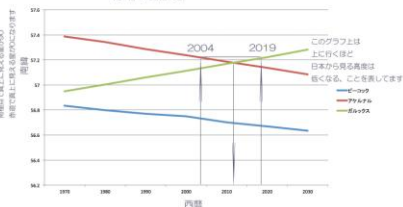
見かけの高度変化が天文リフレクションズの記事(面白いですね！是非ご覧ください)
<http://reflexions.jp/tenref/orig/2019/01/06/7533/>

に書かれていますが、それを実証することが出来るのではないかと隊長の発案がありました。アケルナルの歳差運動の検証は山本が2004-2014の10年間を行っていましたので、そこに今回隊長が観測された2019年のアケルナル・ガクルックスを追加して見事に前記事の各天体見かけの位置の変化(対地高度)のグラフを実証できたようです。

さて、南限ぎりぎり3大天体のアケルナル・ビーコック・ガクルックス、それらの見かけの高度は、地球の歳差により変化していることは分かっています。アケルナル・ビーコックは並行して(同じように)高度が高くなっていますが、反して、ガクルックスだけは低くなっていますね・・・？これって、歳差運動(地球の首振り)を実感していることになります。観測隊は、今後とも各天体の動きを追いつつ更なる変化を記録し続ける責務があるのかもしれない。それこそ、津田さんの喜びことかな？

事務局

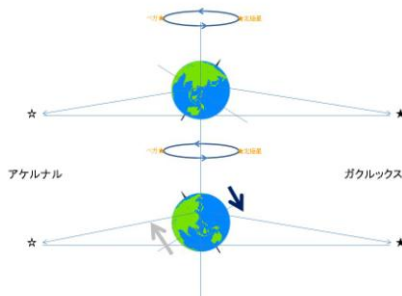
天文リフレクションズ編集長さんが作成された
ビーコック・アケルナル・ガクルックスの
「南緯」の変化です



ガクルックスとアケルナル、なぜ違う方向に動くのでしょうか？？考えてみたら当たり前でした(´▽`) アケルナルの赤経は01h 37m 42.8S
ガクルックスの赤経は12h 31m 10.0S (いずれも2000年時点)

経度は一周24時間であらわされていますので、地球を挟んでほぼ真反対の方向にある、ということを示しています。地球の自転軸は約23.4°傾いていますが歳差というのは独楽が首を振るようなその回転軸がふらふらとぶれること、だいたい円を描いてぶれますね。地表に対して自転軸は超巨大地震でも起きなければその軸がぶれることはないのですが、北極点・北極点の位置はずっと同じですがその軸が指す方向は歳差(首振り運動)により変わってしまいます。今は北極星が北極方向に見えていますがこれから1万年もたつと、ベガが北極の位置にくる、というのが歳差による変化です。その歳差の1周は、2万5千8百年、とされています。

そのふらつきにより高度が変わってくるわけですが、軸が倒れて行く方向の星はだんだん上に見えるようになっていき倒れて行く方向の反対側は下にさがる、というわけでしたね(´▽`)



もっと単純に考えたら、同じ緯度の星で経度が90度ずつ違う星を地球上から観測したとします。地球の自転によって西側の星はどんどん高度が下がるのに東側の星はどんどん高度が上がる、そして南中している星の高度はほとんど変わらない、ということと同じですね。

西側にあるのがアケルナル、東側にあるのがガクルックス南中しているのがカノーブス、と考えたらびっくりですよね・・・あ、余計わからなくなりました？(´▽`)

今回の画像、2004年のアケルナルの方が、2019年のガクルックスより下方に見えています。グラフ通りならほぼ同じ高さになるはずなのですが、撮影機材の違いによるレンズの球面収差の違いや大気による浮き上がり効果の違い、が原因なのかもしれません。なので、5年ほど後に同じカメラ同じレンズで撮影したこの二つの天体の移動方向の違いを可視化するようにと、山本師匠から宿題をいただきました。

山本さんのコメント通り、わずか10年ほどで恒星の位置が変わってしまっていることが分かるということは、わずかな差が見えるぎりぎり天体ならではの観測結果と言えます。観測を継続することでもっともっとはっきりした変化が出るでしょうしなるほど津田さんが興味をもたれたのはこのことかと、よくわかりました！

ガクルックスを撮って満足して燃え尽きている場合ではない、というわけですね(※≒m※)



恒星同士の位置関係は恒星の固有運動による変化はあるものの10年や20年という単位では、70mmの焦点距離でわかるほど大きくはありません。この際その固有運動のことは無視して考えることにします。

(ハレー彗星で有名なエドモンド・ハレーさんが、アルクトゥルス星の位置を観測したところ1800年前の記録とはずいぶん違う「1°違ったそうです」ということに気づき恒星の固有運動が発見されました。銀河の中で恒星はお互いに位置関係を変えずに存在しているのではなく、銀河面に対しての上下動や、銀河内を移動してゆく方向などがそれぞれ違う恒星で違っている、というのが恒星の固有運動です。生まれた年代がほぼ同じで、スペクトル分析も同じ、の場合、その恒星間の距離が離れていても、同じ場所で生まれた星、元は星団だったのが少しずつ離れて行ったのでは？と考えられる条件として固有運動が全く同じ、ということが必要になったりします。またブラネタリウムに行くとき見えている星座は10万年後にはこんなに形が変わるとか紹介されるのは、この固有運動があるためです。しかし、あれほど他の星とは大きく違う高速で移動が確認されているアルクトゥルス座ええ、1800年で1°ですから、アケルナルも結構位置が変わっていることが記録に残っている星とは言わず15年では、70mmレンズ程度では違いはわからないですよ(´▽`)

20181224配信 No4901

川端 孝幸

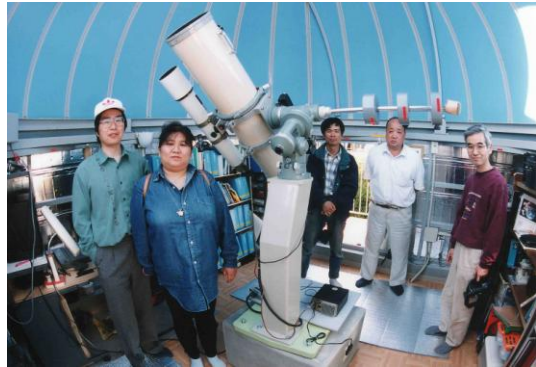
訃報に際し言葉もありません。先日の例会ではあんなに元気だったのに、、、惑星屋としては気象ガイドは大変参考になりました。実際の撮影に活用させて頂きました。感謝ですね。実感がありませんが、、、なんか信じられませんか。ご冥福をお祈りいたします。PS.12月例会でのスナッフ。



20181226配信 No 4907

太田 輝章

津田さん、ご冥福をお祈りします。彼が入会したのは2000年でした。4/23に興味本位で渋さん野々下さんと自宅に押し掛けただのを思い出します。バランスウェイトに何度も頭をぶつけたと言っていたような…。その年末にトビックスをまとめたものがありましたので、「そんな頃だったのか」と懐かしんで下さい。



大分天文協会関連 2000年トビックス

by 太田

★ 設立20周年記念大会・パーティ開催 (1月)

森本先生による講演を一般公開。パーティではドーム形のケーキをアツで・・・



★ 川瀬・山本・石井氏が小惑星になった (1月)

北海道の円館さんが発見した小惑星に各氏の名前が命名された。探してみよう。



★ ASTRO-MO 打上げ船機空振り (2月)

はるばる内之浦まで船機に行ったにもかかわらず打上げ延期。結局打上げ失敗。何のこっちゃ!



★ 入会者急増 (年報)

20周年のPRの成果(?)で会員GET。ドーム所有者率が上がった!



★ 西山・宮本・緒張氏結婚 (2, 3, 10月)

梅屋の星天文台長の西山さん、関崎梅屋館の宮本さん、県外会員の緒張さんが21世紀を目前にゴールイン。



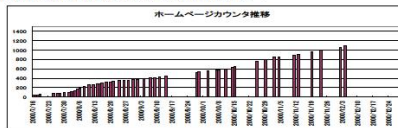
★ プラネットタウン海外進出 (6月頃)

ついにUSA上陸 (H&TECH 社取り扱い開始) 天文メック、アメリカでもその優秀性が認められました。



★ ホームページ再開設 (7月)

数年前に宮成氏により製作されたホームページがハッカーにやられてしまいガッカリ。太田氏により復元し順調に更新中。只今1000カウントオーバー。



★ 船田先生、マウナケアへ (7月)

世界中を駆け回る船田先生が今度はマウナケアに挑戦。世界一のすばる望遠鏡を見た。



★ リニア貫通光せず消滅 (8月)

百式・十式のような期待はなかったけど、消滅すると誰が予想しただろう。



★ 西の台小学校観望会は今年もNG (9月)

97年から計画されているが、台風により中止になる。なしか!



★ 双望遠鏡完成 (10月)

野々下・榎野氏共同製作の20cm シュミカゼによる双望遠鏡がついに完成。笨台がコンテナというのほっと・・・



★ 三浦梅屋資料館オープン (10月)

梅屋先生のごことが一日で分かってしまう資料館が梅屋旧宅の裏にオープン。



★ しし恋望遠不発 (11月)

結果としては「期待しないで見る」ということか・・・

★ 晴天に恵まれず望遠鏡活躍せず (通年)

天候不順により観望会などでも望遠鏡が活躍しない。カビが生えそう。

★ あなたのトビックスは?

追悼メッセージお届けの報告

20190104配信 No 4932

山本 幸司

12月に急逝された大分天文協会会員の津田剛さんへの追悼のメッセージを送っていただいた方々、ありがとうございました。寄せ書きとして、文書にまとめて思い出の写真などと一緒に津田家にお届けしました。



内那さん288個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが288個目のSOHO新彗星を発見しました！！
11/20の287個目に引き続き12/12に288個目！！（12月1個目！）
本当におめでとうございます！そして、お疲れ様です！

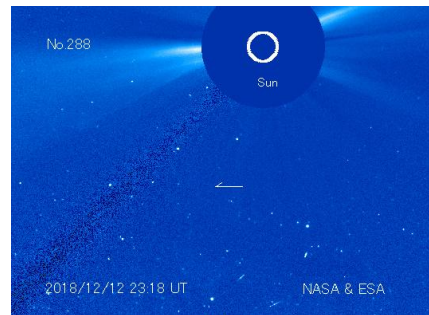
事務局

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3画像の、2018/12/12、23h18m~23h54mの4枚の画像から、Kreutz(クローツ)群の彗星を発見しました。
23h18mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=454、Y=668、(1024X1024、Upper Left)です。
SOHO彗星は今年31個目、通算では288個目の彗星となりました。
(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3 images of Dec/12/2018.

20181213配信 No4880

内那 政憲



内那さん289個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが289個目のSOHO新彗星を発見しました！！
12/12の288個目に引き続き12/25に289個目！！（12月2個目！）
本当におめでとうございます！そして、お疲れ様です！

事務局

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフLASCO-C2B/W画像の、2018/12/24、21h12m~21h36mの2枚の画像からKreutz(クローツ)群の彗星を発見しました。
21h12mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=35、Y=547(512X512、Upper Left)です。
今年32個目、通算では289個目の彗星となりました。
(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)

I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Dec/24/2018.

20181225配信 No4905

内那 政憲



奈須さん西日本新聞で二席・年間賞

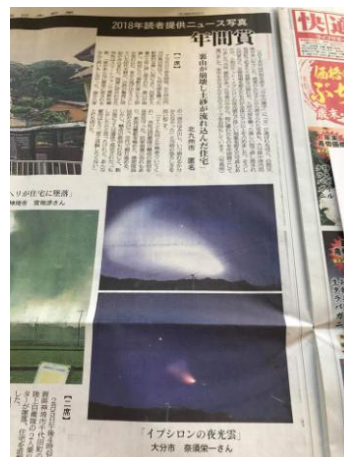
20181227配信 No4911

奈須栄一さんが西日本新聞に提供したイプシロンロケット3号機打ち上げの際に発生した夜光雲の見事な写真が、同社の読者提供ニュース写真の年間賞を受賞されたそうです、おめでとうございます！！
受賞の情報は、奈須さんのFacebook友達が同Facebook内のグループ：新・大分天文協会友の会に情報提供していただきました。事務局

また、年が明けて、奈須さんご自身からもFacebookに受賞のご報告がありました。以下奈須さんのFBタイムラインより。

編集部

昨年の西日本新聞、1月19日に載せて頂いたイプシロンロケットの打ち上げ写真が、昨年末の年間大賞の2席に成ったと連絡があり、先日、表彰状と盾、それに副賞の双眼鏡が届いた!! (#^_^#)
実は、3日経って居るのですが、今朝、小包を開けてびっくりするやら嬉しいやら!!
双眼鏡は、特に嬉しいです・ (#^_^#)



掲載当時の記事



小型ロケット「イプシロン」3号機が鹿児島県肝付町の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられた1月18日、約200km離れた大分県内でもロケットの飛行に伴う「イロロ」のような雲「夜光雲」が観測された。
大分市の奈須栄一さんは午前6時すぎ、同市内でそり座を撮影するため南に向けてカメラを構えていると、オレンジ色の輝点からガスのようなものが広がり空を覆ったという「突然の光に驚いた」晴れて新月だったため、撮影には最高の条件だった。偶然に撮れた産物です」と喜んだ。

2018.12.15 久住高原・星空の巡り

山本さんから、
「2018.12.15 久住高原・星空の巡り」についてご報告いただきました。ありがとうございます。

今回の観望会も楽しそうですね。流星と自分のツーショットなんですごくお土産ももらったようですが、一番のお土産は、捕まって質問を受けたことでしょうかね〜。講師の手間を取って質問するのは申し訳ない、と思われる方も多いのですが、講師の方とすれば積極的に聞いてもらえることはうれしいことですよ。今度編集も、トン汁食べながら教えてもらおうと♪

編集部

20181216配信 No4885

山本 幸司

毎月第三土曜日にくじゅう花公園で開催される星空観望会に、11月に引き続き、講師として参加してきました。星友のお二人（菊池さん・葉師寺さん）が望遠鏡を使って観望会をされ、山本夫婦が解説を担当しました。ふたご座流星群極大日の翌日です。花公園自体は11月で冬季休園に入ってますが、冬の綺麗な星空をお見せしたいと、特別に園内で開催されました。心配された天気も、快星（かいせい）の素晴らしい星天となり、今回も無事開催されました！

17:00 設営準備開始

菊池・葉師寺氏は、何時もの様にピクセン20cm2台と8cmくらいの計3台を組み立て準備をされました。

18:00〜随時天体観望開始

冬季に入り、暗くなるのが早いので、美しい久住の夕焼け、マジックアワーの時間から観望会スタートです！夕焼けの中に阿蘇山の噴煙が、いつもより多いことに気が付きました、また大きな噴火にならないかと願ってます。今夜は半月ですから、夕刻の南天高くに月が見えますので、真っ暗な星空と言うわけにはいきません。それでも久住の暗く澄んだ空では多くの星々が見えます、空の綺麗な街灯などの少なさの環境のおかげです・（笑）無論、まずは月の観測、そしてそのすぐ近くにある夏に比べると小さくなった火星も見てもらいました。

19:00〜

山本担当の「星のお話」講座開始です。寒い中、屋根付きとは言え屋外でのお話で参加の皆さんは寒いですから、主催者側の皆さんが周囲に風よけのシートを張ったり、大型ストーブを置いたり、温かい飲み物・食べ物を用意したり、毛布などを貸し出したり、とても頑張って準備されていました、素晴らしいです。（今回も、無茶苦茶具が多く美味しい豚汁に大感激！さらに、さつまいものポタージュの甘く美味しいのにも大感動しました！！！！久住の星を見ながら温かい食べ物なんて涙が出るくらいうれしいです）気温は終わるころには0度に近づいていましたが、幸い、風がほとんどなくとても助かりました。講座開始前からスクリーンには、久住の各地で撮影した、星座・星景・星雲星団などをスライドショーで投影していました。講座の最初は、同じく久住で撮影した、三日月が沈んでいく動画と、久住山の北極星を中心とした日周運動の動画の紹介をしました。

続いて、お土産用作った

12・1月の星空案内資料の説明を行い、太陽系の大きさ、星の距離、流星、日食、星の最後について等などをお話させていただきました。続いて、直近の天文ニュースとして

- ・ウィルタネン彗星の紹介
- ・ふたご座流星群の観測紹介などをいたしました。

遠くは佐賀県や福岡県からも来られた方もいて、中には昨夜ふたご座流星群を見に花公園にきて、今夜もまた来ました・・・と言う熱心方もいました！また、女の子の4姉妹はとにかく元気です！星が大好きで、よく知ってます。講座の終了後も、久美さんをつかまえて、いろいろな星座神話について盛り上がっていました。

19:40〜 星空ガイド・観測会継続中！！！！

星空講座の終了後は、自由観望会となり再度望遠鏡での観望など、自由に過ごしていただきましたが、寒さが厳しくなってきたためか、ストーブなどで暖をとる方が多かったようです。中には熱心な方もいて、「先ほど話の合った彗星は見えるんですか？」見えますが、公園内の明かりが少し邪魔ですから場所を30m程移動し、そこに10cm対空双眼望遠鏡をセットし、ご案内しました。「中央にぼんやりしなうすい雲のように見えますよ」「あっ！！見えた！！これが彗星なんですか！！」叫び声を聞きつけ、何人も集まってきた彗星や昴を見て感嘆の声を上げてくれました。「会場の明かり位でも大きな影響があるんですね」「そーなんです、本当は真っ暗が良いんですけど安全上、出来ないんですよ」「それでも町よりはるかに良く見えますね、久住ってすごいですね！！！」嬉しいコメントを頂きました！



素敵なマジックアワーの中、
観望会開始です



半月と火星も綺麗に見えます

今夜は18:20過ぎにISS（国際宇宙ステーション）の通過が見られました。レーザーで北西の空を照らし、「このあたりに小さな星が見え始めるはずで、その時の距離は2000キロ以上です」と話していると、「あっ、見えた！星が動いてる」と目の良い方が発見したようです。その小さな星のような光は次第に明るく光度を増して、南西方向にきた時には距離も800キロくらいになってます。

「あれに、人が乗ってるんですか？」

「無論乗ってますよ、日本人も何人も乗ってましたよ！」

「すごいな！！！」

「速いな！！！」

・・・など等歓声が上がってました。



快星の久住の美しさを満喫できました



ISS(国際宇宙ステーション)の軌跡です



照明を消して久住の星空案内



星空解説中にふたご座流星群が！

一人の方から「写真の撮り方教えてもらえませんか？」とリクエスト、お一人で星の写真を撮りたくて参加されたようです。カメラを見るとひと揃え必要なものは用意されており、事前に調べてきたようなので、ピント露出などのポイントをお教えしましたら「あっ！！写った！写りました！！！！」ととても喜んでいました。良かったですね・・・わたしもとても嬉しいです！また一人、星に引き込まれる人が増えてくれたかも！（笑）

この後、主催者側のイベントで、願いを書いた風船（環境に配慮して早期に土に還る素材で出来ているそうです）を飛ばしたりして、その後、会場のすべての照明を消し、月明かり以外の明かりが無い状態にして星空・星座の生解説をいたしました。その途中に、ふたご座流星群の残骸が飛び、記録用として放置撮影していたカメラに解説中の私とその流星が写りました！！！！（流星と自分のツーショットは初めてです、宝物にします）



久住の星空に、皆さんの願いを書いた
環境に配慮した風船をリリース...



月に向かって
飛んで行くかの
ようです

参加者の皆さん、主催者の皆さん、観望会スタッフの菊池さん・葉師寺さん、そして山本夫婦も・・・みなさん、お疲れさまでした！何よりも晴れてよかったですね！！！！来年も素敵な星空が久住で見れますように！！！！！！

【 久住高原 星空の巡り 】

<https://youtu.be/xQctEvrJFFg>

日 に ち：2018.12.15 場 所：くじゅう花公園

撮影・編集：山本幸司(大分天文協会)

音 楽：Nostalgia(著作者：秋山裕和)

12月15日に熊本博物館で開催されたJAXA春山氏の講演に思う

川端さんから、表記のタイトルの観測報告が届きましたありがとうございます。新たな観測目標ができましたね!!! 今後の課題は、解像度を10倍以上向上させる手段ですね! 大望遠鏡の導入・インターネット天文台活用・補償工学系・・・!!!!

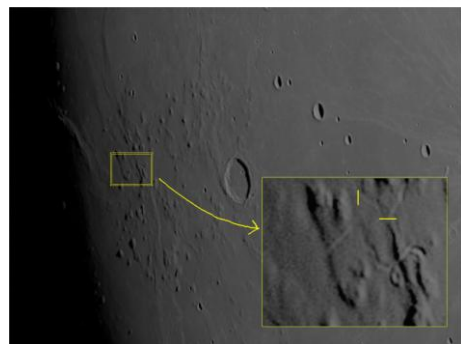
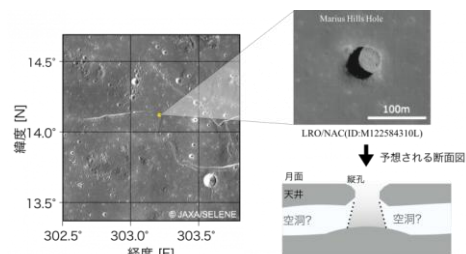
事務局

12月15日に熊本博物館で開催されたJAXA春山氏の講演に思う。
話の中で紹介された「UZUME」プロジェクトは希望を与えてくれます。ちなみに月で3つ見つかる縦穴の中で、マリウス丘の付近を小生も撮影。もちろん穴は見えないが穴があるとされる谷の曲がり部分ははっきり見える。穴の直径は50mほど。当方のシステムでの解像度は4~5000mか? 願わくば捉えてみたいものである(^^)

この月の縦穴・地下空洞探査計画を私たちは「UZUME」プロジェクトと名づけました。
「UZUME」とは、Unprecedented Zipangu Underworld of the Moon Exploration (古今未曾有[ここんみぞう]の日本の月地下世界探査)の略称です。今後、探査が月(Moon)から、火星(Mars)、小天体(Minor bodies)、水星(Mercury)へと拡大していったときも、この名前が使えます。注: JAXAサイトから

20181219配信 No 4889

川端 孝幸



2018.12.23アストロ忘年会

20181223配信 No4897

山本 幸司

勉強会&忘年会の企画は皆さんに不評で中止となり今年の忘年会は見送りとなりましたが・・・ここにきて、どうしても忘年会やりたいというリクエストが事務局に複数、緊急であります下記の内容で忘年会を開催いたしました。
会場&日程の都合で、天文協会会員の吉田さんのお店に、定休日の日曜日に無理にお願いすることになり、大変感謝です。勉強会を兼ねての忘年会と言う、大分に似合わない企画を考えただけに混乱しましたが・・・大分はやはり楽しく飲んでおしゃべりするのが似合っているようです!
((´▽`))ケラケラ

=====

2018大分天文協会アストロ忘年会
日 時: 12月23日(日) 18:00~
場 所: 豊後駅前 青年酒場
<https://tabelog.com/oita/A4401/A440101/44004270/>
参加者(13名): 川端F2・阿部・藤吉・奈須・足立・吉野F2・山本F2・吉田美香さん!
二次会に、山本瑠奈・真理奈の2名参加、計13名



譲ル求ム

20181208配信 No 4862

機材処分のお知らせです

太田 輝章

Vixen 30x125A 45度対空双眼鏡です。
気になる方がいらっしゃいましたら連絡下さい。
画像のファインダーは参考です。フォークや三脚も付けるかは相談。本体下部にはアリガタが付いています。レンズは普通に綺麗です。2インチアイピース用に作ったアダプタも付きます(今それが付いている)。
星見道楽を辞める訳ではありません。機材入れ替え検討のため手放します。多少大きく稼働率が悪いので。



太田さんから「機材処分」のお知らせが届きました。ありがとうございます。ご関心・ご希望の方は太田さん問い合わせください!

事務局

20181229配信 No4913

今年もよろしくお願致します。

太田 輝章

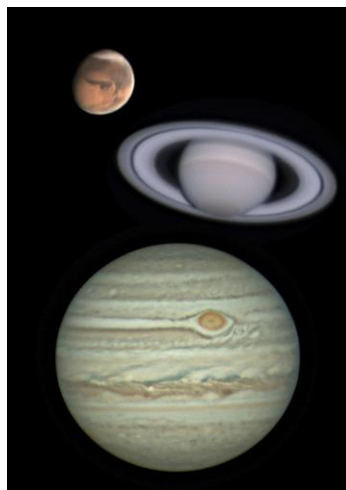
お年玉です...といったのですが売ります。
Vixen R200SS+元祖コマコレクター です。
天文終活ではありません。稼働率が悪いので処分しようと考えています。参考に昨夜の撮影例も添付します。しっかり光軸調整できる方が良いと思いますが、このままでも妥協と考えるなら初心者でもよいでしょう。それなりに年数が経っていますので鏡など傷んでいますが、ちょっと見では綺麗に感じる程度です。その他詳しく知りたい方や興味がある方は問い合わせ下さい。



2018惑星レビュー

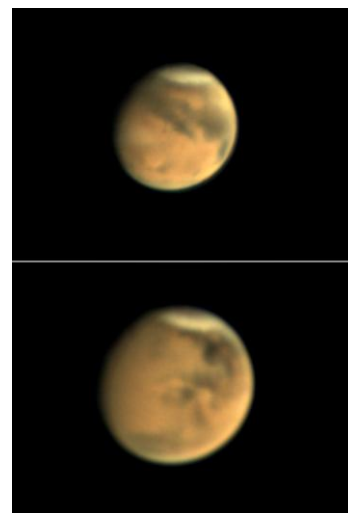
20181230配信 No4917

2018年もあとわずか(3)
残り少なくなりましたが、今年一年を振り返ってます(^^)
惑星レビュー
前半戦は夜空に木星・土星が煌々と輝いてましたが、何ととっても大接近が間近に迫った火星でしょう。5月に入って徐々に大きくなり、存在感を増してきました。夕方木星、夜中に土星、明け方火星といった感じで、体力勝負の状況が続きました。しかし気流の良い日もボツボツあって、結構クリアな画像が撮れる日が出てきました。否が応でも期待が膨らんでいきます。それがこの後、あんな事件が起こるとは、、、!
火星・土星：5月12日、木星：5月11日



20181231配信 No4919

2018年もあとわずか(4)
惑星レビュー
ダストストームの発生は5月30日に捉えられてます。残念ながら画像を残すことは出来ませんでした。6日目の画像では順調に接近して、細部がよい見えるようになってきた矢先です。ようやく確認できたのは2週間も経った6月13日早朝。一回り大きくなったにもかかわらず、大半が覆われつつある火星面がありました。
上：5月24日、下：6月13日。



川端 孝幸

行く年くる年

20181231配信 No 4918

大分天文協会ゆく年くる年
山本 幸司

大分天文協会会員の2018年天文活動です。

今年も大事な星友の逝去や天候不順で泣いたこともありましたが、会員皆さんが例年通り天文楽(てんもんがく)を楽しめたようで何よりです。
来年も同様に楽しんで星遊びしましょう
☆☆☆☆☆

2018年も大分天文協会の活動に参加・応援いただきありがとうございました。
来年も会員皆様の、ご健康でますますのご活躍を祈願するとともに、大分天文協会の活動へのますますの参加とご支援をよろしくお願いいたします!!!!
大分天文協会は、2019年4月には丸40周年を迎えます、これまでの活動の総括、今後のお話など、少しづつしていかなばなりません。
良い案などありましたら事務局までご提案お願いいたします。

作 成：山本幸司(大分天文協会)
音 楽：羊飼いの夕餉(著作者：秋山裕和)
音楽付きです、音声ONでどうぞ!

★facebook：新大分天文協会友の会
「2018大分天文協会活動概要」
<https://www.facebook.com/kouji.yamamoto.315/videos/1741439429290108/?t=49>

★YouTubeでも見られます。
「2018大分天文協会活動概要」
<https://youtu.be/pRiZbSSLJmE>



新年のご挨拶

20190101配信 No 4922

奈須 栄一

20190103配信 No 4928

藤吉 健児

2019初日の出



20190102配信 No 4925

田中 千秋

大分天文協会のみなさま
あけましておめでとうございます。
顧問の田中千秋です。
本年もよろしくお願いいたします。
さて、私こと
昨年、まちづくりの仕事を終え、東京都足立区のプラネタリウムを含む総合文化施設ギャラクシティに勤務しています。大分からは遠い位置ですが、状況の際はぜひお立ち寄りいただき、プラネタリウムをお楽しみいただきたいと思います。
今後も引き続きよろしくお願いいたします。

田中千秋顧問から、新年のあいさつと近況報告が届きました。ありがとうございます。
田中千秋顧問におかれては、下記の総合文化施設ギャラクシティに勤務されることになったそうです。立派なプラネのある施設のようですね、科学館の無い大分県から見るととても羨ましいです。そこでの仕事はプラネにも関係するのでしょうか?東京に行かれる方・・・ぜひお立ち寄りください。
田中顧問、慣れないお仕事かもしれませんがお体ご自愛の上頑張ってください!!!! 事務局



46P ウィルタネン彗星 1

20181207配信 No4859

足立 紀彦

遅ればせながら初めて46Pを捕らえました。
冷却カメラの外部ガラスが結露して曇りがでました。



撮影日時=2018年11月29日 19:57~20:07 ...
撮影機材=RASA(D28cm,FL620mm,F2.2) +
ASI071MC-Pro(-15℃)
CaptureSoft=FireCapture2.6beta
露出=Gain400 Shutter=30sec x 21frames
TargetTemp=-15℃
架台=EQ8 pro + PHD2Guide (QHY5L-II +
D6cm,FL300mm)
処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8

20181209配信 No4864

川端 孝幸

ウィルタネン彗星(46P)昨夜の様子。
薄雲の中、熊本市内の自宅ベランダから撮影。上の
赤く写ってるのはメンカル(くじら座 α)になりま
す。雲さえなければ光害地でも結構も見ごたえあり
そうです。スカッと晴れませんかね(^^)



2018年12月8日、21:25:40 (JST)
EF70-200mm(70mm) F2.8 開放
EOS700D (HKIR) ISO800 30s (LPR-N)

20181211配信 No4866

藤吉 健児

2018.12.09.のウィルタネン彗星
今年の秋は天候に泣かされ、仕事の山に泣かされ、
でもようやく最後の切羽詰まった仕事が付きました。
最近撮影画像の報告が途絶えているがあいつは
大丈夫か?なんてだ~れも心配してなかったと思
いますが、無事星の世界に復帰できそうです。で、
早速ウィルタネン彗星が復帰祝いをくれました。晴
れていた時間は都合1時間ほどでしたが、薄雲がか
かった我が家の庭から、7×50双眼鏡越しに姿を見
せてくれました。赤道儀のセットに時間を取られた
分、撮影時間は40分ほどとなりましたがなかなかの
雄姿です。FBにはDSSで簡易的に処理したものを
アップしましたが、気合を入れて処理した方を報告
します。え?簡易的に処理したものの方がきれい
い??



Takahashi SKY90(D90f407RD)
Canon EOS 70D(lr)
ISO1600 30秒×85Fr(総露出42.5分)
Takahashi EM200(AGS-1L)+PoleMaster ノータッチ
DSS(L85D35F41DF22B80) PSCS2 S18
NeatImage
2018.12/09 20:02 自宅庭より

20181211配信 No4867

山本 幸司

11/29以来の Wirtanen 彗星は、驚くほど明るく大
きくなってました(星屋感覚で!) 今宵はくじら座
の α 星メンカルの南だから見つけるのは楽だろうと
思ってましたが、楽どころか・・・車から降りて見
上げたらすぐに一目で大きくぼんやりした雲のよう
に見えました!(笑)(あくまでも星屋感覚
で!・・・一般の方には??かな?) もっとも、今宵
は危なく見れないところでした、SCWの予報を信じ
、19時過ぎに香りの森に到着したら・・・べた曇り、
21時まで粘ってましたが晴れそうにないので後ろ髪
を惹かれながらとぼとぼ帰路につきました。途中、
給油に止まったスタンドで東の空を見たらなんと雲
が切れてオリオン座が出てる!!! 大慌てでとんぼ
返りして香りも森のに引き返しました。到着してド
アを開けて・・・すぐに見えました!(笑) 給油に
寄ってよかった、家まで帰ったら引き返す根性は無
かったでしょうから!・・・(笑) とりあえず現像して
みしたら小さな銀河も一杯写ってました!!!

DSS (64bitVer.4.1.1
Stas Comet Stackingコンボジット)
Autosave(32Bit)処理 PhotoshopCS2・S1

20181211配信 No4869

川端 孝幸

ウィルタネン彗星(46P)昨夜(12/10)の様子。
しばらくぶりに晴れました(^^)、熊本市内の自宅ベ
ランダから撮影。さすがに肉眼では、、、ファイン
ダー越しには見えました(^^) IRASよりはだいぶ暗
いですね。光害が進んだのかな?



2018年12月10日、21:50:40~59:59 (JST)
EF70-200mm×1.4テレコン (F4、f=280mm) 開放
EOS700D (HKIR) ISO3200 30s×14枚
(LPR-N使用)
DSS処理(comet stacking) DPP4処理

20181211配信 No4871

兵頭 健一

今週の46Pの観望&撮影は絶望視していたのですが、
会社の駐車場から空を見上げてみたら、”雲が無
い!!!” 仕事柄、勤務中のお天気チェックは不可
能なので、夕方になって外界に出ると仰天すること
が多いです。(晴れも雨もですが・・・) 大慌てで
峠を越えて帰宅。バタバタ準備して、自宅からクル
マで5分ほどのローカル駅の近くで撮影開始。点在
する”わらぐろ”がとっても良い雰囲気です。

同じ機材(55-200ズームレンズのテレ端)で撮
影していた、昨年12月のスーパームーンとの対比写真
にしてみました。コマを双眼鏡で覗望した印象では、
これほどのサイズとは想像がつかせませんでした
が・・・。さらなる成長に期待ですね。



撮影日時: 2018年12月10日20:31~20:43
撮影場所: 愛媛県西予市宇和町
機材: 富士フィルム製X-T1 + XF55-200
(200mm位置 F4.8 絞り開放)
ケンコーキナー製スカイメモS (恒星時自動追尾)
露出: 30秒×21コマ ISO3200
画像処理: SilkyPix DS7にてRAW現像(16bit Tiff に変換)
DSS4.1.0にてスタック(Comet Trackingモード)
Lf×21 Df×3 Flなし
SilkyPix DS7にてカラーバランス/トーンカーブ調整
※今、左北のまま投稿してた事に気づきました。すみませ
ん!(常習犯で恐縮です。)

20181211配信 No4870

藤吉 健児

20181210もウィルタネン
12/10の夜は、SCWによれば0:00ごろまでは快
晴の予報でした。でも外れることもあるし、と一昨
夜に薄雲越しに撮影強行しました。昨夜職場を出た
頃は、案の定・・・と思っていました。ところがそ
の後急速に晴れまして、薄雲越しでは物足りなかつ
たのもう一度ウィルタネンを迎撃。
あれ?でもあんまり変わらないかな???(^^)



日 時: 2018.12.10 23:05~
撮影地: 大分市香りの森付近
機 材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A・
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
ISO 3200 59sec×10枚(計10分)
dark5/flat5

46P ウィルタネン彗星2

核の4時半方向の広がりがつぶれているので、10時半方向に尾が伸びているんだろなあ・・・と想像すると、心眼で尾が見えてくる気がします



Takahashi SKY90 (D90f407RD)
Canon EOS 70D (lr) ISO1600 30秒
Takahashi EM200 (AGS-1L) + PoleMaster
2018.12/10 21:28JST 自宅庭より
DSSIL206D60F26DF60B80
恒星は彗星核基準Averageを85コマで、
彗星核はKappaSigmaで206コマスタックして
比較明コンボジット
CS2 Si8 NeatImage

20181212配信 No4873

阿部 哲也

12/10の観測成果報告
☆阿部@由布市医大ケ丘です。
夕方、早い時間に空を確認したら、雲が多かったの
で諦めて風呂・食事を済ませて、もう一度確認する
と晴れているので慌てて準備。結果、実家のカギを
忘れてもう一度往復し、観測開始は2時半過ぎから。
ISOを大きく出来、相反則不軌が無いので600mm
を超える焦点をノーガイドで。電気ストーブを股火
鉢で撮影出来るとは。時代が変わったものだ、ほ
んやり月位の大きさに輝く46Pを眺めていました。
DSSの設定がわからず時間がかかり遅くなりました
が、初報告します。



20181213配信 No4875

川端 孝幸

昨夜(12/12)の46P。晴れてますが、霞んでまし
た。肉眼はもちろん、ファインダー越しにも確認で
きません。とりあえず記録ですね(^)熊本市内グッ
と冷え込んでます。霜が降りそう。



2018年12月12日、21:27:12~21:31:36 (JST)
EF70-200mm×1.4テレコン (F4、f=280mm) 開放
EOS700D (HKIR) ISO3200 30s×14枚 (LPR-N使用)
DDS処理 (comet stacking) DPP4処理

20181213配信 No4877

山本 幸司

昨夜135mmで Wirtanen彗星を撮影した画像の1枚
に流星が飛び込んでくれました、ラッキー！
トリミング拡大していますから実際はそれほど長い
流星ではありませんが・（笑）1枚画像ですから荒
いのはご勘弁！



日時：2018.12.13 00:33~
撮影地：大分市香りの森付近
機材：JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
ISO 3200 59sec トリミング拡大
Photoshop CS2・SI

20181213配信 No4874

藤吉 健児

彗星を止める！
C/2014 Q2 ラブジョイ彗星を撮影してから早4年、
何とか星渡る彗星の動きを止めてDeepSkyと一緒に
写し込みたいと修業を積みましたが、ちっともうま
く行きません。今回の46Pウィルタネン彗星が、よ
うやく2夜連続撮影できたので
試してみたところ、これまでもの中では一番止まっ
てくれたんではないかな？と思います。そっか、
12/09はNGC1253と接近していたんですね。



46PとNGC1253 SKY90+70D
12/09彗星85コマ 12/10彗星86コマ 12/10星野56
コマからの処理画像です。

20181213配信 No4879

刈 辰夫

大分市内光害地のウィルタネン彗星です
昨日自宅庭で撮影のウィルタネン彗星です。前回よ
り大気の透明度が良いと思われませんが、5cmのフ
ァインダーでは全く見えませんでした。25cm30倍で
ぼーっとした広がりが見えました。



2018年12月12日23時44~50分
D700 ISO1600 露出10秒×17枚, dark6, flat7
200mmF2.8
DeepSkyStacker Yimg RawTherapee
GPD赤道儀

20181214配信 No4881

藤吉 健児

わずか20秒の悲喜交々
32年前に中古で購入したレンズを使ってプレアデス
星団・アルデバラン(ヒアデス星団)・ウィルタネン
彗星の期間限定冬の小三角を撮影しました。
実はこの画像、あまりに悲喜交々・・・
悲：まるで話にならんわというくらいべったり曇っ
た宵のうち
喜：深夜に突然の晴れ間
悲：ふたご群が撮れると思って外に出たら小三角が
あまりにきれいなので屋根の影響が少なくなるよう
赤道儀を南にすらしところ北極星は雲の中で極軸
を合わせられなくなった
喜：撮影開始後わずか10秒で撮影範囲付近に流星が
飛んだ
悲：撮影開始後わずか30秒で撮影範囲が雲に覆われ
た
喜：F4 ISO1600 50mm だから写ってないか
な？と思った流星が一部とはいえ写っていた。
悲：もともと流星狙いで20mmを装着していたのに
小三角をもっと大きくと色気を出し50mmに換装し
たのですが、してなければ流星の全経路が写って
いたウィルタネンを中心にしていたら山本さんと同じ
ように見事な流星と彗星が写っていたのかもしれま
せんが他の天体も、と欲をかきすぎました(^)でも
山本さんほどの強運ではないにせよ、僕も少し運を
持っている♪



Pentax KA50mm F1.4 (F4.0)
PK→EFアダプター
Canon EOS 70D (lr) ISO1600 20秒
Takahashi EM200 (AGS-1L)
SI+PSCS2+NeatImage
2018.12/14 00:28JST 自宅庭より

20181216配信 No4883

奈須 栄一

念じれば叶う？
スバルとアルデバランとウィルタネン彗星を撮っ
ているとそこに流れろと捻じたら通じた(≧▽≦)



46P ウィルタネン彗星3

20181217配信 No4885

丸野 閑由

12月14日15日と外には出ずに自宅から流星群とウィルタネン彗星を撮影しておりました。彗星もフ・レヤデ`ス星団に近づいていて視野の中にぎりぎり収められました。



ウィルタネン彗星とフ・レヤデ`ス星団
ニコン180ED フジフィルム X-T1 20秒撮影
ISO3200 ×10枚 コンボジット DSSにて

20181219配信 No4892

奈須 栄一

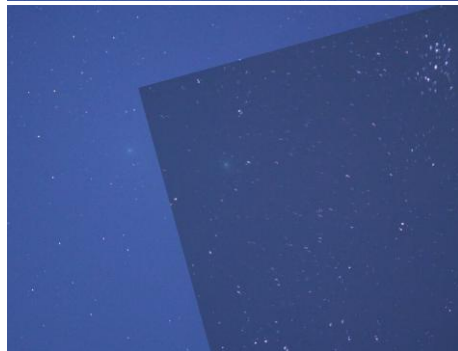
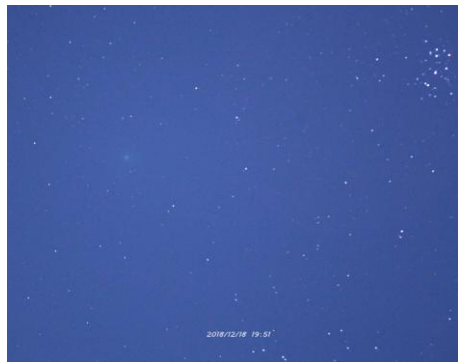
ウィルタネン彗星の移動記録、12月10日の2分ごとの移動（編集部で組み写真にさせていただきました）



20181219配信 No4893

奈須 栄一

ウィルタネン彗星の移動記録
12月18日の早朝と夜の移動を一つに合わせました。が、画像処理が下手なので上手く合わせられませんでした。一日での移動距離は分かりと思います。



ブレアデスとウィルタネンの接近はちょうど地球に接近していた時でもあり、見応えがありました。すばるから遠ざかるところの画像は投稿が少なく、奈須さんの画像はウィルタネンが一気にすり抜けた様子がよくわかりましたので、編集部からの依頼で投稿いただきました。お応えいただきありがとうございます！

編集部

20181220配信 No4894

奈須 栄一

ウィルタネン彗星の4日間の移動
左の画像は、解りやすいように寝かしています。



奈須さんから、「ウィルタネン彗星の4日間の移動」と言うタイトルの彗星観測報告画像が届きましたありがとうございます。4日間の移動・・・本当に大きいですね！！！！彗星らしい尾っぽは中々写しにくかったですが、久々に肉眼等級まで明るくなった見やすい彗星に皆さん大喜びでしたね！！！！事務局

20181223配信 No4897

兵頭 健一

周回遅れの投稿になりましたが、どうぞよろしくお願いいたします！
<46P/Wirtanen>
直近の撮影が15日。もう1週間前の事になってしまいました。FBに投稿した後も、バックの荒れをなんとかしたくて夜な夜な試行錯誤していましたが、1周（週？）まわって、なんだか先の投稿画像が最善だったような結論に・・・（＾＾；

猛スピードで移動中の46Pですが、85mm（換算135mm）で20分間くらいだと、ノーマルスタックでも彗星のブレは微かなようです。珍しくフラットだけはソコソコうまく合ったからか（？）、ちょっとだけM45周辺の分子雲が見えてきました。お月さまには、早く宵の東天から立ち去ってほしいですね。



撮影日時：2018年12月15日21:12~21:33
撮影場所：愛媛県西予市宇和町
撮影機材：富士フィルム製 X-T1
Nikon製 Aiニッコール 85mm F2（絞リ4）
ケンコーターキナー製スカイメモS
（恒星時自動追尾）
露出：30秒×31 ISO3200
処理：DSS 4.1.0にてスタック
（Light×31 Dark×5 Flat×3）
SilkyPix DS7にてトーンカーブ/カラーバランス
補正（16bit Tiff）

20181224配信 No4901

奈須 栄一

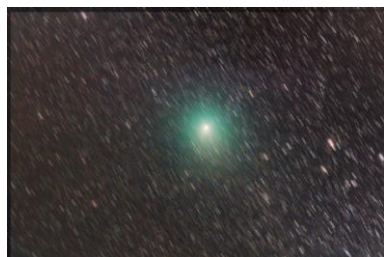
今夜のウィルタネン彗星
津田さんの計報には驚きました。ご冥福をお祈りします。
ウィルタネン彗星はまだカペラの近くにあります。何とか見つけれられました。



20181225配信 No4902

藤吉 健児

津田さん、ご冥福をお祈りいたします・・・ガクルックス撮れました！と報告できるのが一番いいのでしょうけれど今日は自宅にこもっています。



Takahashi SKY90(D90f407RD)
Canon EOS 70D(In) ISO3200 20秒×65
Takahashi EM200(AGS-1L)+PoleMaster
DSS PSCS2 S17 NeatImage
2018.12/24 18:43 自宅庭

46P ウィルタネン彗星4

20181226配信 No4906

藤吉 健児

尾が出ない！と嘆いていたウィルタネン彗星ですが11/29、12/10、12/18、12/24の画像を並べると、結構太陽の周りをこう回って行ったんだな、とわかるような気がしてきました。晴れた日の撮れたとこ勝負ですので撮影日の間隔も、まだ露出時間や画像処理もまちまちです。最頂目に見たら、尾が北東の方向からくると西南東の方向に回っているように見えます、見えます、見えます、ほ～らあなたにはそう見えてきます(催眠術です)。撮影開始から終了までを22分間に揃えて処理しましたので、22分間の間に彗星が恒星の間をどれくらいの速度で移動したか、の比較が可能です。また処理の強さもほぼ同じに揃えました。もっとも、月明下の撮影は揃えるのがちょっと難しかったですが。



光学系はSKY90(407mmRD)、EOS70D
11/29はISO1600 40秒30Frすべて22分間
12/10はISO1600 30秒207Fr中41Fr22分間
12/18はISO1600 20秒190Fr中63Fr22分間
12/24はISO3200(設定ミス)20秒65Fr中55Fr22分間

20181229配信 No4913

太田 輝章

昨夜のウィルタネン彗星です。ちょこちょこ撮っていますが、処理方法を変えたこともあり、しっぽが見えやすい画像になりました。真南に可愛いのが伸びているのが見えます。



20190101配信 No4921

太田 輝章



20190103配信 No4927

藤吉 健児

年末に熊本北端まで小旅行、その駐車場で夜空を見上げてきました。やはり住宅地とは違う星の輝きに感動しました。たまたま通りかかった人から、見えますか？と声をかけられたので、ウィルタネン、オリオン星雲、プレアデス、アンドロメダなどを7×50双眼鏡でご案内しました。北東側の山で雲が発生するようで、肝心の場所は次々と雲が通過、撮影できたのはわずか数コマでした。やがて一面の曇りとなってしまう撤退したのですが、撮るのも楽しいですが、こういうひとときも楽しいものです。



Canon EF-S 24mmF2.8(F2.8で撮影)
Canon EOS Kiss X4(normal)ISO6400 45秒×2
ナノトラッカー
SLIK U8000
2018.12/28 21:45 熊本県阿蘇郡某所

20190103配信 No4927

藤吉 健児

だいたい大晦日の夜は、大掃除の疲労と年賀状の作成で星どころではないのですが、最近のプリンターは高性能なのでなんと年内に年賀状作成が終わってしまいました。さてそうすると、毎年孤独な年賀状作成作業で一家団圓の習慣はない我が家ですからさっさと庭先に出てしまいました(笑)昨年いろいろなことがあった割には撮り納めの撮影は、予定通りの120コマ、フラットもあまり文句のない範囲で決まりました。5時の方向に尾の片鱗も見えてきています(北が上の画像です)。まあ、終わりよければすべてよし、今年もそういう年でありますように



20181231の46Pウィルタネン彗星
Takahashi SKY90 (D90f407RD)
Canon EOS70D(lr) ISO1600 40秒 × 120Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) + PoleMaster
2018.12/31 22:42 自宅庭
DSS+PSCS2+SIF+NeatImage

20190105配信 No4936

丸野 閑由

正月休みが良く晴れたのでポラリエを庭に置き、去り行く彗星を撮影しました。カペラから随分遠ざかっていて探すのに時間がかかってしまいましたが、まだまだ撮影が出来そうな光度です。



ウィルタネン彗星
大分市緑が丘撮影 2019/01/02 0時20分より
X-T1 NIKON ED180 F4
ISO6400 25秒露出 16枚
DSS ステライメージ8処理 ポラリエ雲台

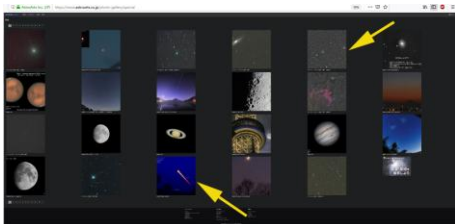
20190113配信 No4951

藤吉 健児



20181212配信 No4871

大分天文協会ががんばってます♪
アストロアーツの投稿写真の特集の案内、皆既月食は山本会長の、ステファン・オテルマ彗星は藤吉の画像が、トップで紹介されております
<https://www.astroarts.co.jp/photo-gallery/special>



20181108FB友の会より

山本 幸司

愛機JILVA-170の生みの親：株式会社輝星(きせい)さんのブログに、悪作の写真などが紹介されました。良かったらご覧ください。
星爺から若人へ@SB工房...
http://tentai.asablo.jp/blog/2018/11/07/8993712?fbclid=IwAR3_pBs_Go2b86-qW8TYGQbmR4IE8sVJyoH3alzSDVRNZbMq62ylKoets



TENTAI ASABLO.JP
●JILVA-170ユーザー様の作品①: ...星爺から若人へ@SB工房...
●星好きの爺さんが若人に送る天文機材の雑多情報。中学生くらいが読者対象です。大人の天文ファン向けにはレベルが低すぎます。ご勘弁！...

20181211配信 No4868

昨夜（12/10-11）の流星

奈須 栄一

7個確認

明るい流星が多くなりました。
ふたご座流星群と思われるものがあります。
am2時以降はベタ曇に成ってしまいました。



20181213配信 No4876

昨夜（12/12-13）の流星

奈須 栄一

大きいのが流れましたが、家に隠れていました。



常設流星観測隊 奈須さん2

20181230配信 No4916

今朝（12/30）の空と月、流星
奈須 栄一 から抜粋
流星は、一個は確実に、フレアかもしれません。



20190101配信 No4922

年越しの流星
奈須 栄一
明けまして、おめでとうございます。
年越しの流星
2018年最後に2個確認
2019年最初に1個確認
大きいのは、流れませんでした。



20190103配信 No4928

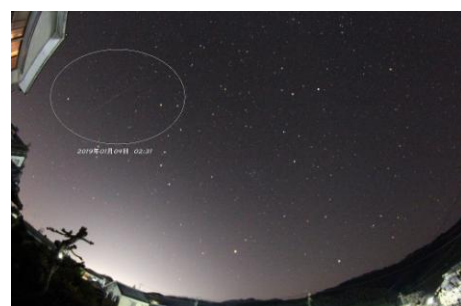
今朝の大流星
奈須 栄一
朝の時間忙しく見落としました。
改めてみたら写っていました。



奈須さんから、「今朝の大流星」観測報告画像が届きました。ありがとうございます。
Facebookで話題になっていた大流星ですね、再確認したら写っていたそうで、良かったです。
それにしても凄い大流星ですね！！！！
事務局

20190105配信 No4934

1月2日から4日までの流星①
奈須 栄一
2日から3日の大きいのは報告済み
3～4日のがやっと確認作業が終わったので送ります。



常設流星観測隊 奈須さん3



20190107配信 No4944

昨夜（1/6-7）の流星
奈須 栄一
昨夜の流星
2個共 立派な流星です。
3時台のは、痕が1分近く残っていました。

20190108配信 No4945

昨夜（1/7-8）の流星
奈須 栄一
昨夜の流星
昨夜の流星は1個、曇る前に流れていました。

ふたご座流星群 1

20181213配信 No4877

2018.12.13 流星と
Wirtanen (ウィルタネン) 彗星46P
山本 幸司

13日夜は忘年会だし、津田さんの予想も12日の方がよさそうだし、晴れてきた星空に我慢できずまたまだ香りの森に出撃しました。気温は1度~0度くらいでしたが北風が強くて寒かったです！8mm対角魚眼で撮影した画像にウィルタネン彗星とふたご座流星群が2つ写ってました！



日 時：2018.12.12-13 22:33付近
撮影地：大分市香りの森付近
機 材：FUJIFILM X-T1/
SAMUYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II
固定撮影 ISO 3200 露出 各30.0sec×2枚
PhotoshopCS2・S I

20181215配信 No4882

2018.12.14-15 ふたご座流星群
山本 幸司

大分県内でも雲に邪魔されたところが多かったようですが大分市は比較的晴れ間が多く、例年通り、多くのふたご座流星を見れたように

Facebook版の新大分天文協会友の会でも会員などの投稿、コメントなどでにぎわっています。ご覧になれる方は是非見てください！
事務局は、土日の観測会の資料作り&お仕事で出撃はあきらめていまして、看板などの灯りの光害の自宅でCLSフィルターを使っている撮影を合間にしていますが、皆さんの途中報告などを見て我慢できず、月没のころから夜中の徘徊に出かけました。とは言っても、翌日の仕事もあり夜更かしは出来ないのので、自宅から車で15分くらいの大分市松岡付近で観測時間は1.5時間と決めていました。観測会資料として流星群…放射点から飛び出す流星…の写真を撮りたかったので8mm対角魚眼のカメラでの撮影です。当然、写る流星も少なく、小さくしか映りませんが前記の目的のイメージの画像となったようです。本音は…もっと観測時間が欲しかったな・(笑)

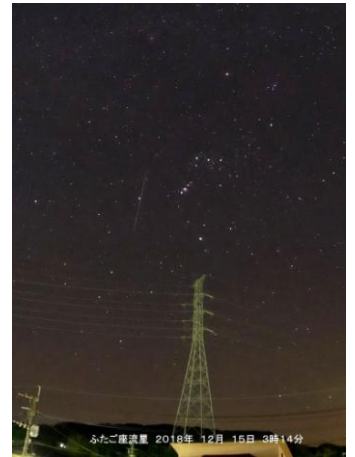


日 時：2018.12.10 01:30~02:55
撮影地：大分市松岡付近
機 材：JILVA-170 (ノータッチガイド)
FUJIFILM X-T1/
SAMUYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II
固定撮影 ISO 3200 露出 各60.0sec×8枚
PhotoshopCS2・S I

20181217配信 No4885

ふたご座流星群他
丸野 閑由

12月14日15日と外には出ずに自宅から流星群とウィルタネン彗星を撮影しておりました。画像は荒く出来は良くありませんが、多くの流星を撮ることができました。ふたご座流星はふぁっと流れるので残像余韻が残っていいですね。



ふたご座流星 フジフィルム X-T1 8mm f2.8
ISO3200 20秒 トリミング
リコーGR ISO2500 8秒
インターバル撮影をトリミング

以下6枚 合計7枚 同



ふたご座流星群2

20181218配信 No4887

ふたご座流星群別府市の場合第一報

藤吉 健児

今年のふたご座流星群は例年以上に活発だった印象で、大火球も数多く見られました。同じ方角に続けて飛ぶのが印象的で、火球が飛ぶ方向にカメラを向けてみると写るわ写るわ・・・活発すぎて撮影画像の整理が間に合いません(´▽`)とありえす第一報として火球が次々飛んでいた北北東方向の固定撮影比較明合成バージョンを報告しておきます。いずれ他の画像もまとめて報告します。それにしても、この合成、撮影条件を考えないと火球以外の流星は埋もれてしまいますね10個の群流星と1個の散在流星が写っていますが・・・



Canon EF-S 24mmF2.8(F2.8)
Canon EOS Kiss X4(normal)ISO6400 5秒
2018.12/15 03:39から40分間撮影
SiriusCompで比較明合成 大分県別府市自宅庭

20181219配信 No4888

ふたご座流星群別府市の場合第二報

藤吉 健児

今回のふたご群は輻射点から地上方向に向けて垂直に、しかも地平すれすれに、火球が次々と降ってくる印象でした。普段なら、火球が飛んだからとそちらにカメラを向けると、向ける前の方角に火球が飛ぶ、というジレンマがありますが今回は予想通り同じ方向に続けざまに火球が飛びましたよ。ちなみにこの元画像、大火球！と喜びすぎてカメラをぶらしてしまっただ失敗作なのですが、流星だけ抜き出して、ぶれていない画像に比較明すれば失敗を帳消しにできるじゃないかと、処理したものです。どせ比較明するんなら、その前後の流星もやっちゃえ！という画像です。固定撮影ではありますが24mmともなると画像の歪みがだいぶ減っていて回転を帳消しにするアライメントは比較的簡単になりました。



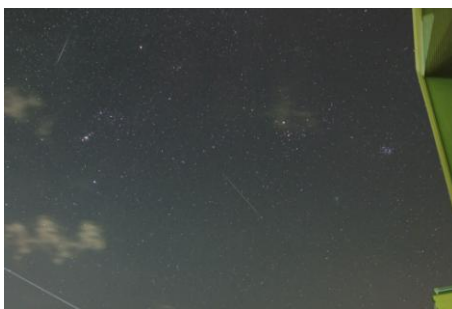
Canon EF-S24mmF2.8(F2.8で撮影)
Canon EOS Kiss X4(normal) ISO6400 5秒 固定撮影
2018.12/15自宅庭より
流星は左端が下から順に飛んでおり、2:44、2:46、2:47中央は2:36、右端は上が2:41、大火球が同じく2:41、上の流星の約10秒後、でした。

20181219配信 No4891

ふたご座流星群別府市の場合第三報

藤吉 健児

第二報の流星のシャワーが目を引き続けているようですが、今年のシャワーはあんなものではありませんでした。まとめてどどんと、第三報です。撮影日は12/15の未明、撮影場所は別府市の自宅庭、撮影レンズはSigma20mmF1.4をF2.2でカメラは70D (lr) ISO3200 1枚当たり5秒 それ以外の詳細をまとめようとする時間がいくらあっても足りない気がしてきたので端折って報告ですがお許しを。えらく撮影範囲を変更していると思われるでしようが撮影範囲内の自宅の屋根と電線から、その心にご理解いただきたく(´▽`)



流星痕という流星の母体となった小粒子の燃え残りの残骸が煙がたなびくように淡く発光したもの、という印象を持っていますがそれはしばらく光り続けて広がってゆく永続痕のイメージと重なります。O159のものがそうですね。



O345のものは流星本体がまだ光っている最中にシャッターが閉じ次のコマで流星痕のみが残ったものです。



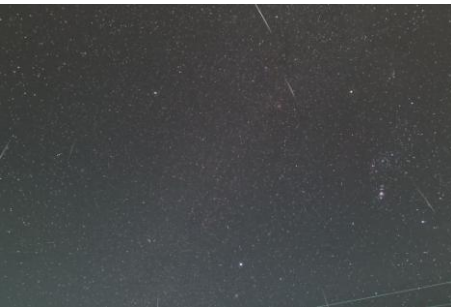
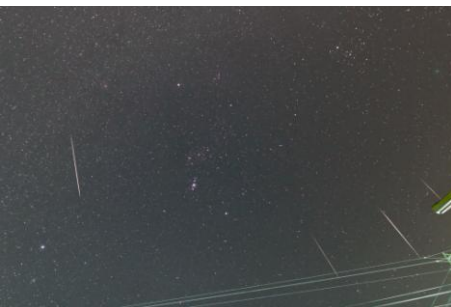
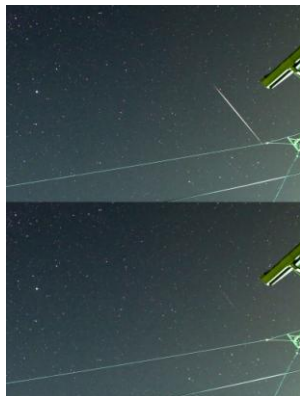
O228はなかなか珍しいと思いますが流星が光り始めた直後にシャッターが開き、シャッターが開いた後の流星の経路が明るく記録されその上に残った短命痕(次のコマには痕が写っていませんでした)が見えているもの、と思われるそうです。有名な曲の歌詞にもありますが、「光る尾を引く」流星群、流星が尾を引くように見えるのはこの短命痕の影響もあるのかもかもしれませんね。

20181220配信 No4894

ふたご座流星群別府市の場合第四報

藤吉 健児

続々と送ったふたご群報告ですが、いよいよ最後の第四報です。報告の最後は流星痕三態です。後に余韻を楽しむように(*≥m≤*)



ふたご座流星群3

20181221配信 No4895

ふたご座流星群

In 亀石峠 (ファームロード日田)

井餘田 敏彦

12月14日、福岡へ帰る途中ファームロード日田の亀石峠へ立ち寄り。大分市内は雲が気になっていたようですが、こちらは雲ひとつない星空でした。21時30から24時頃まで滞在し、多くの流星が見られましたが、残念ながらカメラに飛び込んだのは3個だけでした・・・。帰るころにはフロントガラスに薄らと氷が付いていました。



しぶんぎ座流星群

20190104配信 No4931

2019 しぶんぎ座流星群 (その1)

山本 幸司

今年のしぶんぎ座流星群は所用で遠征できず、自宅から15分くらいの所で観測となりました。肝心の北方向が大分市内の光害方向でしたが、比較的透明度が良かったおかげで肉眼では結構見えた気がします。ただ、15mm広角のカメラにはあまり写らなくて残念でした。放射点方向から飛んでいる流星は9つ写ってました。(すべてが群流星とは限りません) 写っている中で明るいのは3つ、後は拡大しないと見えないくらいの暗い流星です。まだ確認していない魚眼の方に大物が写っていると良いな！

①04 : 20 : 36
②04 : 20 : 48
③04 : 39 : 58
④04 : 39 : 58
⑤04 : 45 : 44
⑥05 : 01 : 40
⑦05 : 17 : 38
⑧05 : 32 : 32
⑨05 : 32 : 32

日時: 2019.01.04 04 : 07~05 : 35

撮影地: 大分市岡原付近

機材: JILVA-170 (ノータッチガイド)

Nikon D810A/TAMRON SP15-30mm

(15mm/2.8)

ISO 6400 露出 各10.0sec 比較明合成

PhotoshopCS2・S1

撮影: 山本 幸司(大分天文協会)



20190106配信 No4941

題名

藤吉 健児

しぶんぎ座流星群とガクルックスの画像を報告します。透明度が良いと20mmの焦点距離でもガクルックスがこんなに明るく写る、というのは予想外で衝撃的でした。



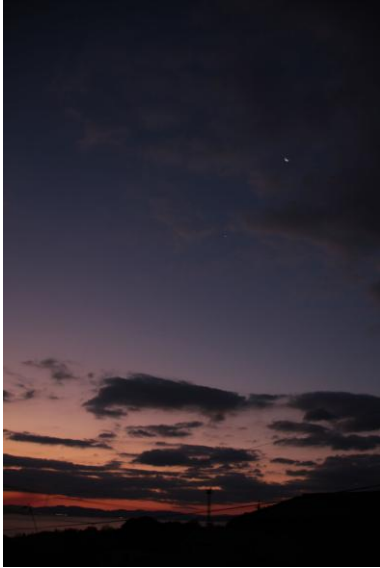
2019.01/04 5 : 39AM 牧ノ戸峠下展望所
(と毎回書いていますが、GoogleMapで調べると
やまなみハイウェイ展望台というのが正式名称のようです)
北緯33.085617度 東経131.193072度
Sigma 20mm F1.4Art(F3.5)
Canon EOS 70D(In) ISO3200 13秒

20190103配信 No4928

20190101未明の月と金星

藤吉 健児

元日早朝、朝寝坊の僕がなんと目が覚めたんですよ！〇〇をとると早起きになるんです、とか言わないの！南東の空で細い月と金星が接近しており明日は大接近だなぁ、と思っているうちに東の空が明るく染まり2019の初日の出、あけましておめでとーございま〜す！。



20190102配信 No4923

月齢25.6の細月と金星の接近

山本 幸司

新年早々、日の出前の東空で細月と金星が大接近となりました。雲で覆いつくされた大分市でしたが周囲が明るくなってきたところにわずかな時間、雲間から美しい黄金色の2天体のランデブーが見れました！（笑）



日 時：2019.01.02 06：40
撮影地：大分市岡原付近
機 材：FUJIFILM X-T1 ISO 1600 1/5sec
Zoom-Nikkor*ED 50~300mmF=4.5
(f=300mm F=4.5)

20190103配信 No4928

20190102 1227の月と金星

藤吉 健児

正月早々なんと二日続けて夜明け前に起きることができたのですが、残念ながらもっと早く、月と金星の昇り始めに起きなければならなかったようで、地平線近く以外はべた雲りでした。仕方がないので厚い雲の外にまで移動するのを待っていたら南中も過ぎて屋前になりました。久しぶりに真昼の金星を見ましたが月より明るく光ってました。



2019.01/02 12：27JST
SKY90+RD 自宅庭より

20190103配信 No4926

今朝の月と空

奈須 栄一

良い空でしたね(#+^#)
月はメラメラでしたが(^_^)



20190103配信 No4926

月齢26.6の細月と

木星・金星・アンタレス

山本 幸司

新年第二段！、日の出前の東空に細月と金星・木星・さそり座のアンタレスなどが集まって賑やかでした！今朝もきれいだっただすね！！！！



日 時：2019.01.03
撮影地：大分市牧付近
機 材：FUJIFILM X-T1 ISO・露出 Auto

20190106配信 No4938

部分日食in熊本

川端 孝幸

最大食前後は薄雲に翻弄、
10時前からようやく快晴となりました。

- 1) 2019年1月6日 9h56m、
- 2) 10h26m、
- 3) 10h50m、
- 4) 11h03m

マクストフカセグレン f=1,325mm、D=102mm、
CanonkissX5



九州地方は天気心配されていましたが良い方向に外れた地域が多かったようで、各地で部分日食見れたようです。川端さんの熊本市でも、前半は雲が多かったようですが、最大食の後快晴になって何よりでした、良かったですね！！

事務局



20190106配信 No4939

部分日食半過程

奈須 栄一

途中雲に阻まれたものの、半過程が撮れました。
多分みなさんも撮れたと思いますが(^_^)
送ります(^_^)



20190106配信 No4939

2019.01.06部分日食

山本 幸司

曇天予報の大分市でしたが良い方に外れて、時間を追うともに晴れ間が広がり、2019年最初の大きな天文イベントが無事観測できました！

2019.01.06部分日食の木漏れ日観測

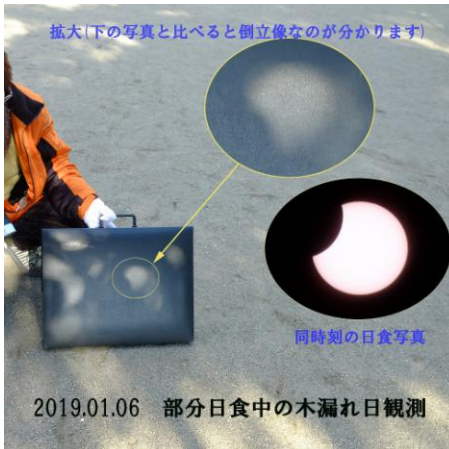
日食の時、木漏れ日が日食の形に見えます。原理は、針穴写真機（ピンホールカメラ）と同じです。今回の部分日食は食分（太陽のかけ具合）が小さいのでわかりにくいですが、それでもしっかりと欠けてるのが見えましたよ！像は・・・ちゃんと倒立像です！（笑）

日食観測レンズは・・・

本日の日食撮影に使ったカメラレンズはTAMRON SP f=500mm F=8.0ミラーレンズです。曇天の予報でしたから、急遽移動するかもしれないことを考え、フットワークを優先したチョイスです。このレンズ（正直写りは・・・ですが）は、故・津田さんから譲ってもらったレンズです。雲りの予報を吹き飛ばしてくれたのかな？！



日 時：2019.01.06
撮影地：大分市牧付近
機 材：FUJIFILM X-T1
TAMRON SP f=500mm F=8.0ミラーレンズ
ISO 3200 1/2000 固定撮影 S1で比較明合成

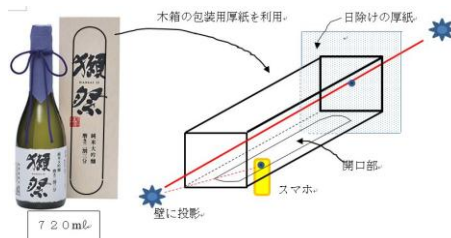


20190109配信 No4946

日食を撮って？みました

井餘田 敏彦

日曜日の朝、福岡の自宅で見ると曇っていたので諦めていましたが、直前で太陽がのそいてきそうなので、急ぎょ準備にかりました。しかしながら、機材があるわけでもなく、日食グラスもない。自宅前のドンキーに買いに行こうかとも思ったが、あるかどうかわからないし、時間もない。あたりを見回すと、写真のとおり、手頃な材料がありました。iPhoneでの撮影ですが、一応、10時20分時点での欠けた姿が確認できました。



20190110配信 No4948

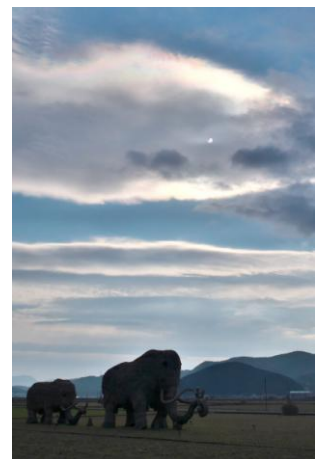
1月6日部分日食画像

兵頭 健一

すっかり出遅れてしまいましたが、6日の部分日食の投稿です。メインのはずだった2時間半の連続撮影は、雲量が多すぎて散々な結果に終わりましたが、雲フィルターと現像ソフトのHDR機能の併用により、藁マンモス親子との3ショットが比較明合成なしで撮れました。（棚ぼた）いずれも手持ち撮影です。終始 雲との闘いで、日食前半は機材を畳んで移動するかどうかの葛藤が続きましたが、ここは「結果オーライ」と思い込んでおこうと考えてます。前日の予報では、にわか雨の可能性があった事を思えば、贅沢は言えないですね。



20190106部分日食01.jpg
撮影日時：2019年1月6日10:21
撮影場所：愛媛県西予市宇和町
撮影機材：Canon製G7X（焦点距離37mm位置 絞り6.3）
露出：1/1250 ISO200



20190106部分日食02.jpg
撮影日時：2019年1月6日10:25
撮影場所：愛媛県西予市宇和町
撮影機材：Canon製G7X（焦点距離15mm位置 絞り5.0）
露出：1/1250 ISO200

20181226配信 No4909

NGC281 (SAO合成)

足立 紀彦

先輩、津田さんのご冥福を心からお祈りします。
11月24日に撮影した画像が少なかったことから、
12月18日にS2、O3を追加撮影しました。SAO合
成はできましたが、色の調整がどうもよく分かりま
せん。



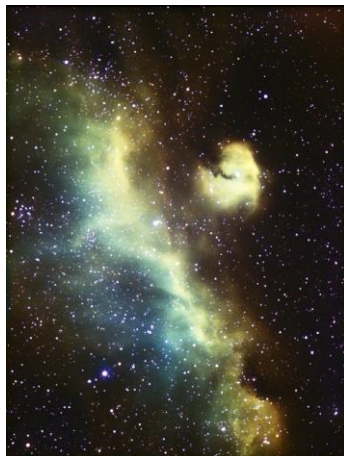
撮影日時=2018年11月24日 21:25~23:30 ...
2018年12月18日 20:39'22.57
Ha : 500sec x 8frames、300sec x 2frames
S2 : 500sec x 7frames、300sec x 10frames
O3 : 500sec x 7frames、300sec x 15frames
撮影機材=FSQ106(D106mm,FL530mm,F5) +
ZWOASI1600MM-Cool
+Ha S2,O3 12nm Narrow Band Filter
CaptureSoft=MaxImDL5
露出=Gain300 Shutter=500sec x 20frames、
300sec x 27frames、TargetTemp=-20℃
架台=EQ6 pro + PHD2Guide (Starlight Xpress
Lodestar + D6cm,FL300mm)
処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8
撮影地=大分県臼杵市 高山天体観測所

20181227配信 No4910

IC2177 (おおいぬ座

足立 紀彦 ナローバンド SAO合成)

懸案のnarrow band filterのHa,S2,O3を使った
SAO合成ですが、12月18~19日の快晴の好条
件の中で撮影できました。しかしながら、ピントが
イマイチだったこと、撮像画像枚数が少なかったこ
と、画像処理の方法がよく飲み込めていないなどの
理由で、いい色が出せません。目下試行錯誤の状態
です。デジイチやモノクロCMOSでLRGBもま
ともに撮れないのに、ナローまで行くのは誰が考え
ても速すぎると思いますが・・・。どうか温かい目で
気長に見てやって下さい。



撮影日時=2018年12月18日 23:02~03:21 (19日)
Ha:300sec x 11frames
S2:300sec x 15frames
O3:300sec x 20frames
撮影機材=FSQ106(D106mm,FL530mm,F5) +

ZWOASI1600MM-Cool
+Ha S2,O3 12nm Narrow Band Filter
CaptureSoft=MaxImDL5
露出=Gain300 Shutter=300sec x 46frames
TargetTemp=-20℃
架台=EQ6 pro + PHD2Guide (Starlight Xpress
Lodestar + D6cm,FL300mm)
処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8
撮影地=大分県臼杵市 高山天体観測所

20181231配信 No4919

年末恒例 (まだ2年目ですが) の
安元 治義 馬頭星雲

年末のクリアーな空で初めて馬頭星雲を撮影したの
が2年前、当時はまだ画像処理も知らなくて 一枚
物でした。皆様のおかげで成長することができまし
た



20cm反射F5直焦点 kissX5 (IR改) LPR-N
Light90secX40 DarkX10 FlatX10
DSS PSEL (NIK) Si8

20190101配信 No4920

ηカリーナ

川端 孝幸

2018年もあとなずか (5) END
遠征十数年ぶり
11月、久々の南天を堪能出来ました。やはりこちら
側はいいですね。初心に帰るといふか、もう一度
じっくり考える時間を与えてくれました。いろいろ
助言を頂いた皆さん感謝です。来年に向けアイデア
も出てきました。凄いい天文現象期待しましょう！一
年お疲れまでした(^^)
ηカリーナ (IRカメラとノーマルカメラ画像のコン
ボジット。IRカメラの赤がきつかったので、ノーマ
ルカメラの画像をブレンドしてみました。
ややマッチングがズレました(^^))



20181229配信 No4913

太田 輝章



20190102配信 No4924

バラ2本

梶原 達夫

皆様 明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。
昨年10月からカメラが結露するようになって、修理
に出していたのが年末に退院してきました、昨晩は
久しぶりに良い天気に恵まれたのでバラ星雲を撮影
してみました。31日のPM7時30分より初めて、撮
影が終わったのが1日のAM1時40分でしたので、
2018年最後の撮像画像と2019年の最初の画像に
なりました。

30cm Newtonian F6 →F4.8 (1440mm) FLI
ML16200 -30℃ SII900sx8コマ
Hα600s x5 900s x5コマ OIII600sx5コマ
900sx5コマ SAO合成 (ブルーのバラ)



以前の画像を見ていたら2014年1月2日に撮影した
バラ星雲の画像がありました。



望遠鏡は同じですがカメラがFLIのIMG6303Eです、
フィルターはHα900sx8コマRGB420s x各4コマ
LRGB合成でLの部分をHα画像に変えてHαRGB合成をし
ています。(ピンクのバラ)

20190104配信 No4930

新年初投稿：バラ星雲3態

足立 紀彦

新年、初投稿です。

バラ星雲=NGC2237 (一角獣座) //SAO合成及びAOO合成

梶原さんの投稿を真似て、バラ星雲2態、いや3態?完全に梶原師匠のバクリです。対象から、写し方から、合成手法まで!?

先日の梶原さんの作品を見ていろいろと参考にさせていただきました。まず、東の空低いところから(時間帯も早い内から)撮影を開始すること。

露出時間が5~6時間になると天頂付近で始めたのでは終盤に鏡筒が赤道儀に干渉してしまう恐れがあるため。また、S2をHaの1.5倍、O3...を2倍に撮影すること。さらに、画像処理はBlueが弱いことから、O3を意識してレベル調整をしました。その結果、緑の強い写真から、何とか見られるような(技術は低いですが...)写真になりました。ただ、梶原さんのような立体感のあるシャープで奥深い写真はまだ撮れません。ガンバリま〜す!!青い?のが、SAO合成 (R=S2,G=S2,B=O3)、赤いのがAOO(R=Ha,G=O3,B=O3)合成、モノクロがHaだけの画像です。

撮影日時=2019年1月2日 19:50~01:17

撮影機材=FSQ106(D106mm,FL530mm,F5) + ZWOASI1600MM-Cool

+ASTRONOMIK (Ha,S2,O3) 12nm Narrow Band Filter CaptureSoft=MaximDL5 露出=Gain300

Ha: 400sec x 11frames

S2: 400sec x 16frames

O3: 400sec x 21frames

TargetTemp=-20℃

架台=EQ6 pro + PHD2Guide (Starlight Xpress Lodestar + D6cm,FL300mm)

処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8

撮影地=大分県臼杵市 高山天体観測所

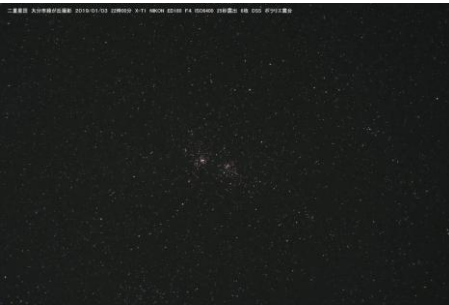


20190105配信 No4936

二重星団

丸野 閑由

二重星団も撮りたかった対象でしたが、自宅の屋根に隠れてしまい6枚撮影しかできませんでした。



大分市緑が丘撮影 2019/01/03 20時0分より
X-T1 NIKON ED180 F4 ISO6400
25秒露出 6枚
DSS ステライメージ8処理 ボラリエ雲台

20190105配信 No4937

大晦日のオリオン座

山本 幸司

大晦日の夜、最後の星空徘徊に出かけた時の画像処理が1枚残っていました。定番のオリオン座です・(笑) D810Aを買ったものの標準レンズがないのでオークションで格安で買いました。そのAF-S NIKKOR 50mm F1.8Gのテストも兼ねてます。

年越しまでに帰って来いという条件付きでしたので撮影時間が短く、darkもflatも撮れませんでした。その条件で処理してみたら無茶苦茶周辺減光が強く如何ともしがたい画像になったので、ELパネルでフラットを作って処理してみました。空の被りなどは補正できませんが・・・格安レンズ・・・値段成りでしょうが4隅の星像が三角形!!!! これはちょっと!涙です・・・



日時: 2018.12.31 22:01~22:48

撮影地: 大分市香りの森付近

機材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A/AF-S NIKKOR 50mm F1.8G (2.2)

ISO 3200 118sec×25枚 (計49分)

DSS (64bitVer.4.1.1コンボジット

dark0/flat5)

Autosave(32Bit)処理 PhotoshopCS2・S I

20190107配信 No4942

撮り納と、初撮り

小田 孝明

12月31日のM1かに星雲と、1月3日のM78 星雲を送ります。M1は微細なフィラメント構造までは描出てきていませんが、雰囲気は出せていると思います。

M78はバーナードループとの競演が美しいと思って、撮ってみました。この画角はよく見かけると思いますが、写真上方の被りが気になっていたのですが、フェイスブックの投稿で福田さんに指摘され、結局画像に補正を加えずにいたことがわかりました。それでもまだ気になったので、画像をRAWからTIFFに変換して、DSSでスタックしなおしてみました。こちらの方は、被りが気にならなくて済みました。



撮影対象: M1 かに星雲

撮影日時: 2018/12/31

撮影場所: 豊後高田市自宅庭

鏡筒: TSA120+extender (FL1350mm)

カメラ: EOS8000D (IR) +HEUIB-II

赤道儀: iOptron iEQ45pro,

ガイド: PHD2 guide(QHY5 II)

露出: ISO6400, 94min(240sec×11, 300sec×10),

dark×10, flat×20

処理: TIFF画像に変換後DSS でコンボジット (2×drizzle) SI8、Photoshop Express、Neat Imageで調整、トリミング



撮影対象: M78星雲とバーナードループ

撮影日時: 2019/01/03

撮影場所: 豊後高田市自宅庭

鏡筒: タカハシ FS-60CB+Reducer C 0.72X

(FL255mm)

カメラ: EOS8000D (IR) +HEUIB-II

赤道儀: iOptron iEQ45pro,

ガイド: PHD2 guide(QHY5 II)

露出: ISO1600、120min (180sec×40)、dark×0、

flat×0

画像処理: TIFF画像に変換後DSS でコンボジット、SI8、Photoshop Express、Neat Imageで調整、トリミング

20190103配信 No4927

2019撮り初め

藤吉 健児

今年の撮り初めは、1年間の苦労知らずを願ってフクロウ星雲を選びました。ところが、ペルセウス座流星群のころからバッテリーが底をつかないのにカメラが動きを止める、というトラブルがときどき発生!途中で転寝してしまった僕も悪いので、文句は言えませんが180コマ撮影予定のうち28コマのみの撮影。どうやら今年の撮影も苦労の連続の様相(笑)電源には気をつけろ、途中で転寝するなというありがたいご宣託をいただいた初撮りでした。

20181208配信 No4861

M33(L/R/G/B+Ha)

足立 紀彦

M33のHⅡ領域を出そうと、ASI1600MM-CoolにLRGB撮影したものにH-alpha (12nm) Filterを加えて撮影しました。HⅡ領域は出せたようですが、Haが強すぎたのか、HⅡ領域以外も赤く出てしまいました。テスト撮影のため、Dark,Flat補正はしていません。

撮影日時=2018年11月29日 22:24~24:00
露出=Gain300、TargetTemp=-20℃
L=300sec x 10frames
Ha=500sec x 4 frames
R,G,B= 300sec x 4 frames
撮影機材=FSQ106(D106mm,FL530mm,F5) + ZWOASI1600MM-Cool



CaptureSoft=MaxImDL5
架台=EQ6 pro + PHD2Guide (Starlight Xpress Lodestar + D6cm,FL300mm)
処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8

M97とM108
Takahashi SKY90(D90f407RD)
Canon EOS 70D(lr) ISO1600 40秒×28
Takahashi EM200(AGS-1L) + PoleMaster
2019.01/01 02:20AM JST
DSS(2xDrizzle D46F46DF46B80)
PSCS2 S17 NeatImage

月

20181226配信 No4908

25日の月

安元 治義

津田さんの突然の訃報に驚いています。昨年入会してまだ1年のお付き合いで、今からいっばい天文についてお聞き出来る思いでした。ご冥福をお祈りします。

最近の星果を報告します



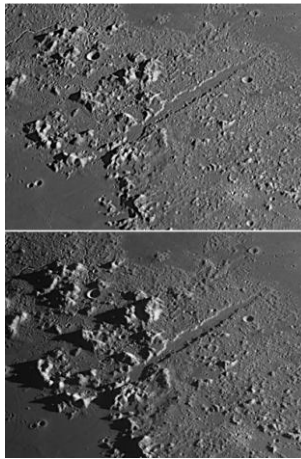
C9.25 ASI290MC IR760 19コマモザイク

20181229配信 No4912

3/25・26の月面

川端 孝幸

2018年もあとわずか、未掲載画像から。前半戦ようやく3月25、26日気流が安定し、ますますの月面拡大撮影が出来ました。その中からアルプス谷周辺を狙ったものをさらに拡大。二重谷の2日間の変化を 見てみました。先般のJAXA春山先生の講演でも探査の様子が紹介されたところです。ココには縦穴は発見出来なかったようですが、将来見つかるかもしれませんね。
上：3月26日、下：3月25日

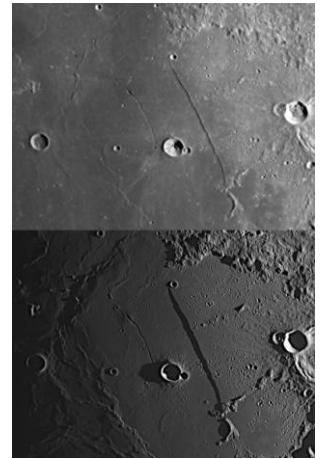


20181230配信 No4914

3/25・27の月面

川端 孝幸

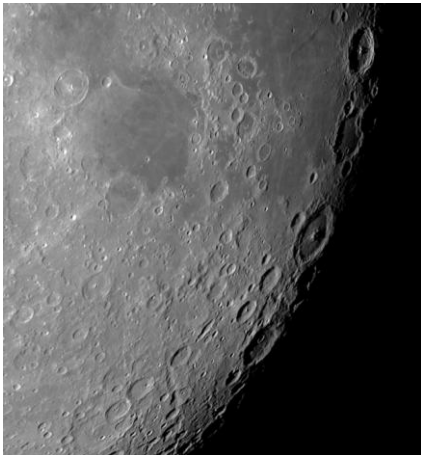
2018年もあとわずか、未掲載画像から(2)前半戦の3月25と27日。このタイミングは若干気流が荒れてました。JAXA春山氏の講演で紹介された、直線壁に平行に流れるバート谷を拡大。ここも縦穴がないか詳細に調査されたようです。縦穴は無くても、巨大なチューブが存在するかも(〇)
上：3月27日、下：3月25日



20181230配信 No4915

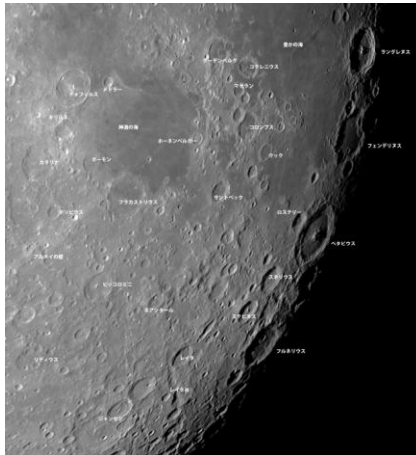
月の名所シリーズ⑱

安元 治義 4大クレーターの夕暮れ



データー処理に追われ中断していました名所シリーズ復活です。一列に並んだ4つのクレータに夕暮れがせまっています

C9.25 ASI290MC IR760
河内天体観測室(自宅) 大分県豊後高田市



20181230配信 No4916

今朝(12/30)の空と月、流星

奈須 栄一

から抜粋

寒かったですね!!!! 月は、ユラユラ・・・金星と木星、蠍がはっきりして来ました。



20181210配信 No4865

太田 輝章

昨日(12/09)の金星と機材メンテ

昨日の金星です。シーイングは極めて悪く、モニタ上ではビントが判らないくらいに踊っていました。そのため画像は滑らかではありません。今日晴れるか期待しましたがだめでした。

曇りだったので、AL130三脚のネジをメンテしました。いつの間にか錆びてくる止めネジですが、ステンを採用してくれば良いものを、コストダウン目的か判りませんがノーマルタイプになっています。夜露など考慮してもらえないのかな。とりあえず、表面を#400のペーパーで磨き、仕上げにピカールで磨いておきました。図で示しましたがその差は歴然。放って置けば磨いても無駄なくらい錆びてしまいますので、暇な時にメンテする必要があります。



20181216配信 No4884

太田 輝章

本日(12/15)までの金星

気流が悪いだろうと思っていましたが、6:30頃の時点で撮影してみると動画でも意外とビントが出ていたので、昼の撮影は無しにしました。



20181223配信 No4896

太田 輝章

23日の金星です。昨日はシーイングダメダメでしたが、今日は完璧と言ってもいいくらいに安定してきました。平年なら雪が降るくらい寒く悪気流なのですが、惑星屋さんにとっては嬉しい状態です。参考までに動画もつけておきます。見かけの大きさが木星程度でこの揺れですから、この時期にしては十分に状態がよかったかが判ります。

太田さんから、金星継続観測の観測報告画像が届きました。ありがとうございます。コンスタントな観測、頭が下がります!!!それにしても23日は気流が良かったようですね、スタックした画像のエッジがとてもしarpです! 事務局

MP4動画をご報告いただきましたが、会報には貼りつけることができません。MMでご視聴いただけると幸いです。 編集部



20181229配信 No4913

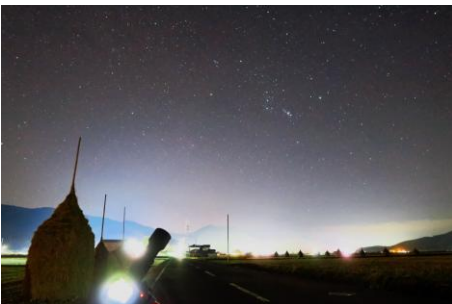
太田 輝章

今朝の金星です。前回より大きさの変化は少なく6日の西方最大離隔へ向けて半金状になろうとしています。



20181211配信 No4871

わらぐろと昇るオリオン
兵頭 健一



撮影日時：2018年12月10日20:45
撮影場所：愛媛県西予市宇和町
機材：Canon製G7X (8.8mm位置 F1.8 絞り開放)
露出：6秒 ISO3200

20181223配信 No4898

藁マンモスのある星景
兵頭 健一

撮影アングルを試行錯誤中です。
皆さま、四国にお越しの際には是非お立ち寄りください。^^/
<http://www.seivo1400.jp/c/blog/75491>



撮影日時：2018年12月15日
撮影場所：愛媛県西予市宇和町

20181224配信 No4899

2018.12.24
クリスマスイブ早朝の三惑星

山本 幸司

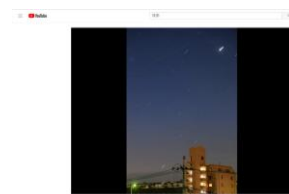
クリスマスイブの早朝、日の出前の東天に金星・木星・水星が仲良く並んで昇ってきました。三惑星の接近、天気が悪く中々見れませんでした。ようやく見れて良いクリスマスイブの朝となりました。 meri-kurumasu!!!!



2018.12.24 06:23~
大分市牧にて
固定撮影

短いですが音楽付きの動画にしてみました。
YouTubeにアップしたらなぜか音楽だけが早送りになりました・(´_ゝ)A気ぜわしい感じですがスマセン

「2018.12.24クリスマスの朝の三惑星」
<https://youtu.be/8aha1XHvqdA>

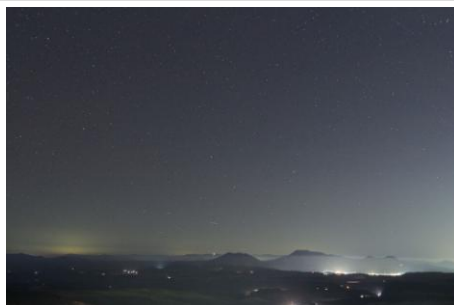
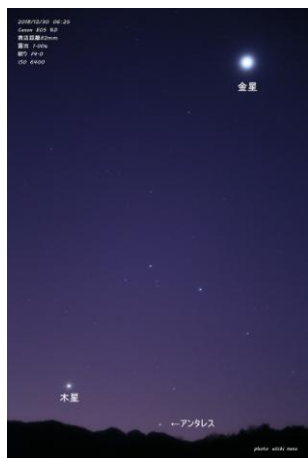


クリスマスソングのテンポはこれくらいでも違和感ないですよ
(*≧m≦*)
編集部

20181230配信 No4916

今朝(12/30)の空と月、流星
奈須 栄一

寒かったですね!!!!月は、ユラユラ・・・
金星と木星、蠍がはっきりして来ました。



撮影：2019.01/03 南中19:02
20mmは19:30
牧ノ戸峠下展望所
Canon EOS Kiss X7i(lir)

20190103配信 No4929

津田さんに捧げるアケルナル
藤吉 健児

南天撮影隊、隊長、一步一步階段を上ってます。
昨年ピーcock撮影に成功し本日アケルナル、手に入れました。もう遅いかな?と思いましたが
会長が今週末はまだ行ける、とアドバイスくださったので。70mmだと余裕がありすぎるように見えるので20mmの画像を添付、ただし20mmだとどこかわかりにくいのでちょっとトリミングもつけておきます。

20190104配信 No4932

早朝の月惑星の競演

山本 幸司

しぶんぎ座流星群観測で火照った頭をクールダウンしてくれる息をのむような美しい時間でした!

2019.01.04昇る月水木金アンタレス



すっかり明るくなった東天・山際ぎりぎりに水星が昇ってきて早朝の惑星たちが勢ぞろいしました。
どんどん高度が低くなる水星はかなり明るくなってからしか昇ってきません。東の九六位山の峰の窪んだところに水星が来る位置をシミュレーションして何とか撮影出来ました!!!!

2019.01.04月水木金アンタレス



占いでもやってみます?? (* ≥ m ≤ *)

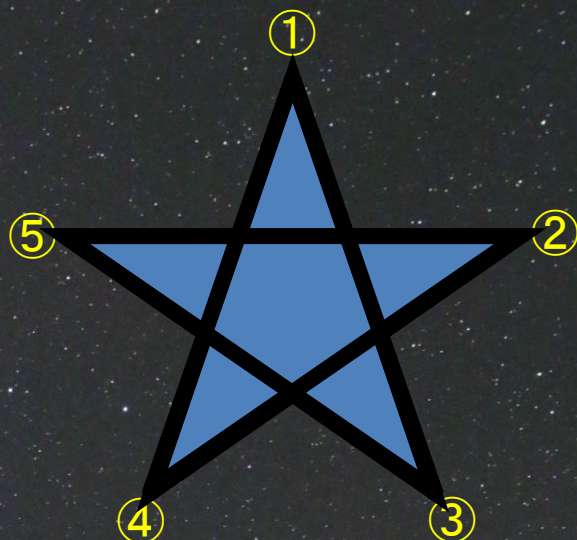
天文協会とは切っても切れない関係
のこの形、これを一筆書きで書く
ときにあなたはどこから書き始め
ますか??

右の図の中の①から⑤までのどこ
から書き始めますよね??

書き始める位置によってあなたの
性格が占えるんですってよ～～

占いの結果は下の方を目いっぱい
拡大して見てくださいね。

ちなみに編集は④から書き始め
ます♪



インフォメーション用報告画像の容量変更のお知らせ

IT版ミニインフォメーションの1通当たりの添付画像容量は
2Mを目安にしてほしいとお願いしてきました。
これは、ずいぶん以前のネット環境を考慮したお願いでした。
ただ、最近においては光回線も当たり前になってきましたし
皆さんの撮影する画像も精度よくボリュームも大きくなって
きましたのでこれを機会に目安を少し大きくしようと思います。
今後は

投稿のファイルはjpg で、
サイズは3M を目安に お願いします。

あまり大きなサイズの画像が添付されたメールは
受信側に読み込みの負担が大きくなり(非常に時間がかかり)、
そのメールがダウンロードされるまで他のメールを読むことができない
などの支障をきたすばかりでなく
場合によって送信したはずのメールがサーバー側で拒否され
送信されなかったりすることがあります。
ご注意ください。 協力 下さい。

①リーダー型
責任感が強い。
それゆえ嫌な役回りを
引き受けることも
恋愛：自分から積極的に行くが
追いかけられると冷める

②八方美人型
皆から愛されたい。
それゆえ自我が強くない
恋愛：ノーと言えず流されやすい

③ロマンチスト型
夢が大きい。
常識にとらわれないが、
天然ボケになることも
恋愛：ロマンチックな
出会いを求める

④芸術家型
独自の美意識を持つ。
それゆえこだわりが強く
簡単には妥協しない
恋愛：苦手で奥手

⑤正直型
自分の気持ちを正直に表に出す。
夢を実現するための
努力を惜しまない
恋愛：積極的で、
内面より外面重視

アストロインフォメーションバックナンバーご案内

大分天文協会の会報として、ニューアストロインフォメーションを2018年03月から発行を再開しています。今回の8月号まで、毎月1回発行しています。

それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です

次のアドレス(リンク)から目的に応じて好きな方をダウンロードしてください

(左上の青い矢印のダウンロードをクリック)



1) 通常(通常PDF版: 3~5M) A4版

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/eAMtE1>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/WSgTHB>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/dullRu>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/sw8gKq>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/BkGw61>
- ・2018.04 (096) 号 <https://yahoo.jp/box/IP2hCW>
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/i6CZ3e>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/ekTisf>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/tlR2Aw>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/QRKehN>
- ・2018.09 (101) 号 https://yahoo.jp/box/J_GntK
- ・2018.10 (102) 号 <https://yahoo.jp/box/agRgfv>
- ・2018.11 (103) 号 <https://yahoo.jp/box/eagH6o>
- ★2018.12 (104) 号 <https://yahoo.jp/box/kAY91D>

一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はこちらでどうぞ。

2018.11 (103) 号はA4版表紙がHQの表示になっていますが誤植です。お許しを！

2) HQ版(ハイクオリティー版: 30M前後)

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/8UF--H>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/JzZ6eY>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/VQkWOH>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/6reqmQ>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/YEAULE>
- ・2018.04 (096) 号 https://yahoo.jp/box/cl81_m
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/rHMdVN>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/9x5buk>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/f-wwox>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/0lqrbQ>
- ・2018.09 (101) 号 <https://yahoo.jp/box/bpo2PS>
- ・2018.10 (102) 号 <https://yahoo.jp/box/d9XaBG>
- ・2018.11 (103) 号 <https://yahoo.jp/box/nLBBMz>
- ・2018.12 (104) 号 <https://yahoo.jp/box/gMw4LM>

タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として読むスタイル(指を使った拡大操作が可能)に対応出来るように紙面サイズを非常に大きくし、掲載画像のクオリティもあげています。高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。

「 NEWアストロ・インフォメーション印刷時のエラーについて 」

アストロインフォメーション Yahoo!ボックスHQ版の印刷が上手くいかないという症状が出る場合があることが分かりました。

- ・通常(通常PDF版: 3~5M) A4版では問題ない。
- ・HQ版(ハイクオリティー版: 30M前後) で問題発生。
- ・症状は、HQ版を印刷すると画像が多く貼ってるページの画像が正常に印刷されない(画像が尻切れトンボになる)
- ・ダウンロードしたHQ版PDFを見る分には問題ない、印刷だけが問題。

(原因)
・推測ですが、PowerPointで編集しPDF化していますが、そのPDFファイルをAcrobatReaderDCで印刷処理する際に、ソフトウェア内での画像ファイルの取り扱いに問題があるのでは、と思われます。(OSがWindows7のPCでは、AcrobatReaderDCをWin7の互換モードで起動すると問題なく印刷できます)

- (対策)
- ・印刷はA4版PDFで行うか・・・
 - ・HQ版で印刷する場合は以下の設定とする(添付画像参照)
 - ①プリントボタンをクリック
 - ②印刷の詳細設定をクリック
 - ③詳細設定の「画像として印刷」にチェックを入れる
 - ④OKをクリック
 - ⑤印刷をクリックして印刷スタート
 - ※印刷スタートする前にはプロパティから印刷の品質設定をしておくこと!





大分天文協会

Astronomical Society of Oita